

表-1 災害発生後の対応と課題(2)

No.	団体名	災害対応状況	課題・留意事項
8	みつば町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・台風～7:40 車庫前に倒木との連絡。 ・土木部が8:40 に車両3～4台で倒木処理を実施。 ・地震～役員13人が当日集合。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板特別号として10日(発災後3日)に発行し、289世帯に配布。
9	柏町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・台風～月寒川河畔林15本、白石東公園の倒木。土木部がすぐに生活道路確保。その日に班長以上の役員会開催。 ・地震～役員が自分のエリアを巡回。(独居老人見廻り等) ・3箇所、認知症施設があり、食料、水の確保、入所者の安全確認と心のケア。 ・避難所開設をラジオで知る。(余震が怖くて集まっていた様子だが大多数は、集まっても帰ってしまった。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・10,11日にお祭りを実施。施設の方々が観覧し、安心してくれた。(役員が自発的に動いてくれた) ・避難所に障害のある方を迎えられるのか。 ・警察の警備に疑問(一車線の路線に4人、2車線に1人の配置)。 ・避難所開設3箇所は住民に言われて実施したと聞いた。 ・冬に発災の際に、水はどうするのか? ⇒公園の水は使用不可に。井戸水を確認し発電機の用意。
10	栄通17丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・台風～びっくりした。サイクリングロードで1本の倒木。 ・地震の後、明るくなってから巡回。 ・古いアパートの壁が壊れる。 ・東白石小学校が早く、通電があり避難者がいた。 	
11	栄通18丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・地震～発災後、すぐに7人の役員が集まる。 ・二手にわかれ独居老人宅等含め118軒ほど訪問。 ・停電でインターホンが使えず大声で避難伝達を行う。 ・炊き出しを実施し、施設にある水をバケツリレーで配水。 ・スマホの充電を当初まちづくりセンターで実施。(その後、ニーズが多くなり対応不可。2日後、飲食店にお願いした。) ※ルーシーは電気不通のため受入不可(2万世帯受入可能だったが駄目であった)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の後、大谷地小学校に顔を出せていない。 ・対応方法を研究すべき。 ・役員の駐車場を避難場所にする。 ・発電機も使用可能であった。 ・地震だけではなく火災も意識すべきテーマとして考え、消火栓、防火水槽について消防署とのタイアップが必要。 ・白石防災センターで研修(20名)を行う。 ・いざという時の会館利用。
12	栄通19・20丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・地震当日、会長は不在。15時半にまちづくりセンター確認したところ被害なし。 ・電話が通じなくなり、とても不便、不安を感じた。 ・民生委員が避難所へ。 	
13	南郷みそら	<ul style="list-style-type: none"> ・地震～一切、被害なし。朝、巡回時には普通の状態。停電があっただけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の意識が低い感じがする。

表-1 災害発生後の対応と課題(3)

No.※	団体名	災害対応状況	課題・留意事項
B1	下白石町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・南郷通 15 丁目付近で地盤沈下。地下鉄工事の影響か？ 	
B2	白樺自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・団地で 1～14 号棟あるうち 3, 4 名が外へ。 ・地域での声掛け、高齢者の見回りが必要。 ・イベントで集まる日に、品物を配り、状況ヒアリング。 	
B3	栄通 17 丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・公園がないエリア。防災資材を置けない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気を使わない生活を考えるべき。 ・HV カーで、電気を使うことができた。
B4	栄通 19・20 丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・4 月から赴任。地震発生後、5:00 から自転車でひと廻りして、住民にお声掛けすると「大丈夫」と伺った。 ・目の前の公園で水汲みをしている姿を見た。 ・断水になるという情報（結局は、デマ）があり、水を貯める措置をとった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会として、防災担当のジャンパーが必要では？（声掛けの際に、不審者に思われないため）。 ・どういう時に巡回などに出動するかなど基準を作る必要がある。 ・大谷地小学校で行われた防災訓練は、あまり意味がないのではないか？

※B：防災実務者

開催状況写真



平成30年度 地区防災計画モデル地区事業

第4回 白石東地区防災計画検討委員会

開催状況報告書

地区防災計画策定に向けて、「第4回 地区防災計画検討委員会」を開催しました。

- 開催日時 平成30年12月6日（金）18:00～19:45
- 実施場所 白石東会館1Fホール
- 参加者 白石東地区防災計画検討委員会（小委員会）メンバー



また、次第は、以下のとおりです。

1. 委員長挨拶
2. 各町内会における防災計画の整備状況について
3. 第5回委員会
4. その他

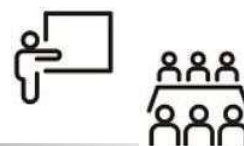


出席者

参加委員：10名（資料1「検討委員会出席者名簿」参照）

オブザーバー：

- ・危機管理対策室危機管理対策部防災推進担当課地域防災担当係
- ・白石区市民部白石東まちづくりセンター



配布資料

- ・次第
- ・資料1 検討委員会出席者名簿
- ・資料2 防災に関わる町内会の取組状況



1. 委員長挨拶

委員会開催にあたり、委員長の 小笠原 忠雄 氏より、ご挨拶があり、委員会がスタートしました。

<検討委員会の経過>

- ・地区防災計画は町連の実働訓練で課題等を把握してから防災計画を作成する予定だったが、基本となるべき防災計画や防災組織のない町内会があるため、まずは、来年3月までに各町内会の実情に応じた防災計画や防災組織をまとめてもらい、委員会に提出してもらうことになった。
- ・来年度は、各町内会から提出された防災計画等を土台にして、最初に町連の実働訓練を行い、課題等を把握したうえで、町連の地区防災計画を作ることとした。
- ・今日は、計画や組織のある町内会にどういった観点や経緯で作成しているのかを説明してもらい、計画のない町内会や見直しを検討している町内会の参考にしてもらう。

2. 各町内会における防災計画の整備状況について

<町内会の防災計画と見直し内容等>

No.	団体名	整備状況
1	栄自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画は作成しているが、見直しが必要。 ・簡易的なものを作成し、配布を行いたい。 ・非常食は3～4日を目処に考えている。 ・水やお湯の使い方の周知を行いたい。 ・炊き出し道具については費用がかかるため計画を見直し中である。
2	東白石町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の研修から取組や議論を行うようになった。 ・町内会の役割の重要性を認識し、防災意識を高める取組を徹底している。 ・規定は無いが、エリア別に連絡網の作成を行っている。 ・水害対策は不要とし、意識>訓練を大事としている。 ・アパートが多いため対策を課題とし、管理会社との連携を検討している。 ・防災備蓄品のチェックリストを作成、全世帯に配布を予定している。
3	大谷地第一町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災組織には町内会の役員を全て当てはめており、大きいマンションは自分達の組織に加えて町内会の組織にも入ってもらうことで災害時に町内会全体を把握することにしてしている。 ・公園は柏と第一があるが第一で防災訓練を実施して、災害時の動きはシミュレーション段階である。 ・ゴミ捨てるの担当エリア分けでのグループを活用し、きめの細かい連絡が可能になると考えている。 ・災害時は実際に町内会の会員を動かせるかが課題である。 ・来年の夏頃にシミュレーションしたい。冬場の災害も検討中である。
4	大谷地第二町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和50年代から組織があり、役員が変わるため名前を入れていないが名前入りはその都度作成している。 ・今回の台風では公園の物置が一つ飛ばされたため、地震だけではなく台風についても対策が必要と考えている。 ・日頃から対策をキチンとしているので災害に驚くことはないが、とにかく災害時に役員が出動できるよう訓練が大事である。 ・高層マンションの増加で窓ガラス等が割れた場合の影響が心配である。
5	みつば町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・3年前から重点的に取り組んでおり、独居の体の弱い人や高齢者を優先とし、それぞれに担当者を決め、力を入れている。 ・災害が起きたらテント、椅子、鍋、炊飯器など道具が必要なので、物を集めようと役員会で了承してもらい災害用に特別な釜を特注で作った。 ・今月にマニュアルができ、役員会に諮って全世帯に配布する予定である。

No.	団体名	整備状況
6	柏町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時は町内会名簿を転用し連絡網として使用する。 ・老人施設が4ヶ所あり、それぞれで防災計画があるが、施設の最終的な避難場所は小学校になっているため大人数が捌けるのか心配である。 ・施設側は町内会との連携を探っているみたいだが、町内会が施設に関与するのは難しく、協議会のようなもので町内会も参加して協議していかなければと考えている。 ・見直しはたくさんあり、DO-HUG等をやって振り返って見直すとか、役所との連携をどうするか考えていく必要がある。 ・役員でない町内会会員の人をどうやって引っ張るのか意識の構築が必要であり、役員だけならば連絡が早いし決断もできる。
7	栄通 18・19 丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・何年も前の組織図だが、災害が実際に起きたときの行動を視点に何をどうするか見直ししている。 ・役員の集合場所と本部は配備品がある太田公園とした。 ・4月からの回覧で協力者を強力に募る取組を始める。 ・家庭用の排水ホースや洗車用のリールホースを火災時に活用することや、消火器の設置を強力に要請するなどの見直しをかけている。 <p>【災害時対応】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大声で声を掛け合い、公園に集合して班を編成しグループ内を巡回する。 ②携帯品を確認する。 ③本部には2名を配置する。 ④冒険公園を避難場所とし名簿を作成する、そのため、人員配置は4名、ラントラン3個、名簿用バインダーを用意する。 ⑤大谷地小の避難者を把握し名簿を作成するため4名を向かわせる。
8	栄通 17 丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が無いので備品がもらえず、土木に言うも置かせてもらえていない。 ・訓練が大事で、初期消火でダメなら逃げるようにしている。 ・防災は大変なので個人で出来る事はたかがしれている。 ・災害時の見回り、隣近所の助け合いを大事にしたい。 ・連町の防災計画を参考にしたい。
9	白樺自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・震度7まで耐えることが出来る為、避難はしない。 ・停電の際はベランダに電気をつけるようにしている。 ・避難訓練は全ての町内会がやる必要はない。
10	南郷みそら町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・東白石町内会と分かれ、15年となるが防災に関することが何もない。 ・今回をきっかけとして防災意識を高めて3月には規約など作成したい。

<質疑応答>

- Q 単町から計画が出てこないというが、トップである町連が作成するべきではないか。
- A 単町を土台として町連の計画を作成することを考えている。
- Q 町連で一本化する目的は何か、また単町では事情や条件が異なるのではないか。
- A 計画の一本化というイメージではなく、町連の計画は共通認識として考えて頂きたい。各単町の計画をまとめることで町連での訓練等に生かすことができ「地区防災計画」を作成できる。
- Q 災害時の救助活動で怪我をした際には役所から給付金などは出るのか。
- A 原則として給付金などは無い。但し、今回の地震が原因で骨折などの負傷をした方（重傷者）に対して、義援金の支給があった。
- Q 単町の弱点を表にまとめて重点的にアドバイスをしたらどうか。
- A 町連の計画と被らないので別途進めることは可能である。まずは3月までに各単町から計画等を提供して頂きたい。また町連の防災計画は2020年の3月までに作成する予定である。

3. 第5回委員会

次回委員会は、平成31年2月14日（木）の開催とする。

4. その他

今後、札幌市危機管理対策室の早川係長より第1回から第4回までの報告書の配付予定とのこと。



【資料 1】 検討委員会出席者名簿

《委員メンバー》

番号	団体名	委員	出欠
1	栄自治会	山本 和夫	
2	下白石東町内会	田森 澄夫	欠
3	下白石町内会	杉浦 奎介	欠
4	東白石町内会	藤川 靖雄	
5	白樺自治会	木南 清美	
6	大谷地第一町内会	板垣 俊夫	
7	大谷地第二町内会	福田 洋	
8	みつば町内会	横野 正春	
9	柏町内会	長井 和幸	
10	栄通 17 丁目町内会	道塚 勝美	
11	栄通 18 丁目町内会	市橋 敏夫	欠
12	栄通 19・20 丁目町内会	●小笠原 忠雄	
13	南郷みそら町内会	門馬 忠志	

● は委員長

《オブザーバー》

- ・危機管理対策室危機管理対策部防災推進担当課地域防災担当係
- ・白石区市民部白石東まちづくりセンター
- ・白石区市民部総務企画課地域安全担当係

【資料 2】 防災に関わる町内会の取組状況（第 4 回検討委員会資料）

団体名	規程等	組織	資料提出	備考
栄自治会	○	○	○	
大谷地第二町内会	○	○	○	
大谷地第一町内会	なし	○	○	
みつば町内会	なし	○	○	
柏町内会	なし	○	○	
東白石町内会	なし	素案段階	○	
栄通 19・20 丁目町内会	なし	素案段階	○	
栄通 17 丁目町内会	素案段階	素案段階	なし	
下白石東町内会	なし	なし	なし	
下白石町内会	なし	なし	なし	
白樺自治会	なし	なし	なし	
栄通 18 丁目町内会	なし	なし	なし	
南郷みそら町内会	なし	なし	なし	

平成30年度 地区防災計画モデル地区事業

第5回 白石東地区防災計画検討委員会

開催状況報告書

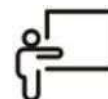
地区防災計画策定に向けて、「第5回 地区防災計画検討委員会」を開催しました。

- 開催日時 平成31年2月14日（木）18:00～19:00
- 実施場所 白石東会館 会議室
- 参加者 白石東地区防災計画検討委員会（小委員会）メンバー



また、次第は、以下のとおりです。

1. 委員長挨拶
2. 各町内会における防災計画の整備状況について
3. 第5回委員会
4. その他

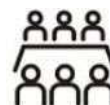


出席者

参加委員：9名（資料1「検討委員会出席者名簿」参照）

オブザーバー：

- ・危機管理対策室危機管理対策部防災推進担当課地域防災担当係
- ・白石区市民部白石東まちづくりセンター所長



配布資料

- ・次第
- ・資料1 検討委員会出席者名簿
- ・資料2 防災に関わる町内会の取組状況（第4回検討委員会資料）
- ・資料3 平成31年度 地区防災計画の事業日程（案）



1. 委員長挨拶

委員会開催にあたり、委員長の 小笠原 忠雄 氏より、ご挨拶があり、委員会がスタートしました。

<会議内容について>

- ・災害が発生したときに実際に活動できるかどうかという点を重要と考え、既に提出済の町内会も含めて対策案等の見直し状況はどうかを確認する。

2. 各町内会における防災計画の整備状況について

<町内会の防災計画と見直し内容等>

№	団体名	整備状況	防災計画 提出状況
1	栄自治会	<ul style="list-style-type: none"> 被災にあったとき、24 時間、または 74 時間までの逃げ方という観点で見直しを行った。 阪神淡路大震災クラスの災害の場合、組織が機能しない可能性があるため、想定される災害に合わせて初動を見直している。 	済
2	東白石町内会	<ul style="list-style-type: none"> 資料の見直しはしていない。 防災意識の徹底に力を入れている。 	済
3	みつば町内会	<ul style="list-style-type: none"> 町内会で 40 名ほどいる要支援者を優先的に助けたい。 発災時は物がなければ何もできない。 言葉だけでなく行動で示したい。 	済
4	栄 17 丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> 計画については提出済みである。 	済
5	栄通 18 丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> 計画については見直しを予定している。 単町で防災訓練はできないが、町連の訓練は人数を増やして参加したい。 	未
6	柏町内会	<ul style="list-style-type: none"> 何年か前から D I G をしており大丈夫である。 計画の見直しはない。 	済
7	下白石東町内会	<ul style="list-style-type: none"> 役員会に諮っているが本格的にはこれからである。 区の事業で平成 31 年度にアンケート調査をやるため、災害の項目を入れて反応をみたいところもある。 3 月末までに一旦の素案はできるので、提出する予定はある。 あかりという施設の運営委員会で委員として参加しており、その施設を町内会の防災計画に組み入れることに懸念があったが、施設長は一緒にやりたいと言うため計画の策定に含めようと思っている、また現状、暗中模索の状態である。 	未
8	大谷地第一町内会	<ul style="list-style-type: none"> 組織図に変更はなく総会に諮る予定である。 第一公園と柏公園で防災訓練をやっているが形式的で足りない部分もあるのでどうするか検討する。 組織図を具体的にどう動かすか議論する。 施設の障がい者は職員で足りないので協力・連携をどうするか、協定が必要かなどを検討している。 心のリカバリー総合支援センターの体育館を避難場所にさせてもらっている。 そういった施設をどうするか、手が回らない状態である。 	済
9	栄通 19・20 丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> 組織図と実際の行動は別なものである。組織図に行動規範を付け加え、役員に配布して共有を図る。 	済

3. 今後の課題

- まちづくりセンター所長より今後の課題として以下の事が挙げられました。
 - ・ 事業日程（案）はタイトなスケジュールになっている。
 - ・ 任意ではあるが、各単町の防災訓練を7月までに終わらせる必要がある。
 - ・ 10月の実践訓練は大谷地小学校を予定しているが、町連でバケツリレーやるわけにはいかない。
 - ・ 4月にはおおまかな実施内容や関係団体などの調整を進めなければ間に合わない。

4. 第6回委員会について

- 平成31年4月11日（木）開催予定

以下の内容を予定しています。

- ・ 単町の防災計画・組織を配布
- ・ 町連実戦訓練の内容について協議
- ・ 平成31年度地区防災計画の事業日程（案）【資料3】について協議

【資料1】 検討委員会出席者名簿

《委員メンバー》

番号	団体名	委員	出欠
1	栄自治会	山本 和夫	
2	下白石東町内会	田森 澄夫	
3	下白石町内会	杉浦 奎介	欠
4	東白石町内会	藤川 靖雄	
5	白樺自治会	木南 清美	欠
6	大谷地第一町内会	板垣 俊夫	
7	大谷地第二町内会	福田 洋	欠
8	みつば町内会	横野 正春	
9	柏町内会	長井 和幸	
10	栄通 17 丁目町内会	道塚 勝美	
11	栄通 18 丁目町内会	市橋 敏夫	
12	栄通 19・20 丁目町内会	● 小笠原 忠雄	
13	南郷みそら町内会	門馬 忠志	欠

● は委員長

《オブザーバー》

- ・危機管理対策室危機管理対策部防災推進担当課地域防災担当係
- ・白石区市民部白石東まちづくりセンター

【資料 2】 防災に関わる町内会の取組状況（第 4 回検討委員会資料）

団体名	規程等	組織	資料提出	備考
栄自治会	○	○	○	
大谷地第二町内会	○	○	○	
大谷地第一町内会	なし	○	○	
みつば町内会	なし	○	○	
柏町内会	なし	○	○	
東白石町内会	なし	素案段階	○	
栄通 19・20 丁目町内会	なし	素案段階	○	
栄通 17 丁目町内会	素案段階	素案段階	なし	
下白石東町内会	なし	なし	なし	
下白石町内会	なし	なし	なし	
白樺自治会	なし	なし	なし	
栄通 18 丁目町内会	なし	なし	なし	
南郷みそら町内会	なし	なし	なし	

■ 4月11日（木）

第6回検討委員会開催【全体会議】

- ・ 単町の防災計画・組織を配布
- ・ 町連実戦訓練の大まかな内容を協議
時期（10月）、場所（大谷地小学校）、準備内容、協力依頼先団体 など

■ 7月末まで

各単町で防災訓練を実施（任意）

- ・ 終了した単町はまちセンに報告する。
- ・ 単町は第7回委員会で結果を報告してもらうため、課題等があれば整理しておく

■ 7月末

第7回検討委員会開催【小委員会】

- ・ 単町の防災訓練を踏まえ、実践形式による町連の防災訓練に関わる役割分担や具体的な内容を協議

■ 9月初旬

第8回検討委員会開催【小委員会】

- ・ 町連実戦訓練の実施（案）を提示

■ 10月

実戦形式による町連の防災訓練実施

■ 11月～1月

第9回・第10回検討委員会開催【小委員会】

- ・ 実戦訓練の意見交換、課題抽出、地区防災計画の素案策定等

■ 2月

第11回検討委員会開催【全体会議】

- ・ 地区防災計画の素案提示

■ 3月

第12回検討委員会開催【全体会議】

- ・ 白石東地区町内会連合会地区防災計画の決定

平成31年度 地区防災計画モデル地区事業

第6回 白石東地区防災計画検討委員会

開催状況報告書

地区防災計画策定に向けて、「第6回 地区防災計画検討委員会」を開催しました。

- 開催日時 平成31年4月11日（金）18:00～19:30
- 実施場所 白石東会館1Fホール
- 参加者 白石東地区防災計画検討委員会メンバー



また、次第は、以下のとおりです。

1. 委員長挨拶
2. 2019年度 地区防災計画の事業日程について
3. 白石東地区防災計画実戦的防災訓練（素案）
4. 白石東地区町内会連合会 防災計画・組織

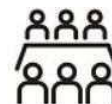
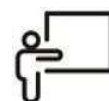


出席者

参加委員：20名（資料1「検討委員会出席者名簿」参照）

オブザーバー：

- ・危機管理対策室危機管理対策部防災推進担当課地域防災担当係
- ・白石区市民部総務企画課地域安全担当係
- ・白石区市民部白石東まちづくりセンター



配布資料

- ・次第
- ・資料1 2019年度 地区防災計画の事業日程
- ・資料2 白石東地区防災計画実戦的防災訓練（素案）
- ・資料3 白石東地区防災計画検討委員会 委員名簿
- ・白石東地区防災計画検討委員会経過報告
- ・白石区避難所派遣チェックシート
- ・白石東地区町内会 防災計画・組織



1. 委員長挨拶

委員会開催にあたり、小笠原 忠雄 委員長からご挨拶がありました。また、新年度ということで、危機管理対策課長からご挨拶があり、開会いたしました。

2. 避難所の開設・運営について

10月の実戦訓練に向けて、白石区地域安全担当 尾崎 係長から、白石区避難所派遣チェックシート（区職員向け）を使用し、避難所開設の流れと留意点について説明がありました。

委員から、暗証番号キーボックスの利用や、福祉スペース設置等のルールに関する質問があり、これらについては今後検討して、訓練に活かすこととしました。

3. 2019年度の事業日程・実戦的防災訓練について

改めて、2019年度の地区防災計画の事業日程が示され、7月末日までに各単位町内会で防災訓練を実施することとなりました。この防災訓練は任意となっておりますが、連合町内会の訓練では消火器を使用した基礎的な訓練は実施しないことから、基礎的な訓練は単位町内会で極力実施してほしい旨、委員長から発言がありました。

また、10月の実践的な訓練の日程が、検討事項として

<質疑応答>

- Q 単町から計画が出てこないというが、トップである町連が作成するべきではないか。
- A 単町を土台として町連の計画を作成することを考えている。
- Q 町連で一本化する目的は何か、また単町では事情や条件が異なるのではないか。
- A 計画の一本化というイメージではなく、町連の計画は共通認識として考えて頂きたい。各単町の計画をまとめることで町連での訓練等に生かすことができ「地区防災計画」を作成できる。
- Q 災害時の救助活動で怪我をした際には役所から給付金などは出るのか。
- A 原則として給付金などは無い。但し、今回の地震が原因で骨折などの負傷をした方（重傷者）に対して、義援金の支給があった。
- Q 単町の弱点を表にまとめて重点的にアドバイスをしたらどうか。
- A 町連の計画と被らないので別途進めることは可能である。まずは3月までに各単町から計画等を提供して頂きたい。また町連の防災計画は2020年の3月までに作成する予定である。

3. 第5回委員会

次回委員会は、平成31年2月14日（木）の開催とする。

4. その他

今後、札幌市危機管理対策室の早川係長より第1回から第4回までの報告書の配付予定とのこと。



【資料 1】 検討委員会出席者名簿

《委員メンバー》

番号	団体名	委員	出欠
1	栄自治会	山本 和夫	
2	下白石東町内会	田森 澄夫	欠
3	下白石町内会	杉浦 奎介	欠
4	東白石町内会	藤川 靖雄	
5	白樺自治会	木南 清美	
6	大谷地第一町内会	板垣 俊夫	
7	大谷地第二町内会	福田 洋	
8	みつば町内会	横野 正春	
9	柏町内会	長井 和幸	
10	栄通 17 丁目町内会	道塚 勝美	
11	栄通 18 丁目町内会	市橋 敏夫	欠
12	栄通 19・20 丁目町内会	●小笠原 忠雄	
13	南郷みそら町内会	門馬 忠志	

● は委員長

《オブザーバー》

- ・危機管理対策室危機管理対策部防災推進担当課地域防災担当係
- ・白石区市民部白石東まちづくりセンター
- ・白石区市民部総務企画課地域安全担当係

【資料 2】 防災に関わる町内会の取組状況（第 4 回検討委員会資料）

団体名	規程等	組織	資料提出	備考
栄自治会	○	○	○	
大谷地第二町内会	○	○	○	
大谷地第一町内会	なし	○	○	
みつば町内会	なし	○	○	
柏町内会	なし	○	○	
東白石町内会	なし	素案段階	○	
栄通 19・20 丁目町内会	なし	素案段階	○	
栄通 17 丁目町内会	素案段階	素案段階	なし	
下白石東町内会	なし	なし	なし	
下白石町内会	なし	なし	なし	
白樺自治会	なし	なし	なし	
栄通 18 丁目町内会	なし	なし	なし	
南郷みそら町内会	なし	なし	なし	

日時：令和元年6月10日（月）18時～

場所：白石東会館会議室

白石東地区防災計画検討委員会臨時小委員会



1 委員長挨拶

2 臨時小委員会

(1) 各単町の防災訓練の進捗状況

(2) 10月13日の町連防災訓練について

ア 規模 参加人数

イ 宿泊体験 人数（最低でも各町内会長の参加）

(3) 大谷地小学校への要請

ア 炊き出し場所

イ 炊き出し用器具

ウ 食器等

(4) 危機管理対策室への要請

ア 備蓄品の使用 マット類・食器等

3 その他



日時：令和元年8月23日（金）18時～

場所：白石東会館ホールA

第7回白石東地区防災計画検討委員会小委員会



1 委員長挨拶

2 小委員会

(1) 白石東地区防災訓練について

(2) 大谷地小学校への要請、確認

(3) 危機管理対策室等への要請

3 その他

- ・第8回防災計画検討委員会の開催

日時：令和元年9月24日（火）18時～

場所：白石東会館 1階ホール



白石東地区防災訓練について

1 日 時

令和元年10月13日（日）14時～14日（月）9時

2 場 所

札幌市立大谷地小学校

3 状況

札幌市（白石東地区）に震度6弱以上の地震が発生し、家屋全半壊、停電、断水などにより、地区の指定緊急避難場所（東白石中学校、大谷地小学校、平和通小学校）に避難者が集まることを想定する。

4 参加者

- (1) 白石東地区防災計画検討委員会の構成団体
- (2) 札幌市立大谷地小学校
- (3) 危) 防災計画担当課 地域防災担当
- (4) 白) 総務企画課 地域安全担当

5 参加人数

250人程度（案）
（宿泊体験人数 50人程度（案））

6 訓練内容

- ①避難所開設 ②避難訓練 ③避難所設営 ④運営支援訓練
⑤障がい者・高齢者等の支援訓練 ⑥炊き出し訓練 ⑦災害対策本部訓練

7 避難所開設後の対応（案）

- (1) 避難所へ避難者を誘導
- (2) 避難所での各単町避難者名簿の作成
- (3) 避難者の避難所内でのスペース確保の割り振り
- (4) 必要品（備蓄品等）の配付
- (5) 避難所の警備、特に夜間
- (6) 炊き出し
- (7) 宿泊体験
- (8) 本部への被害状況の報告

8 対策本部（案）

- (1) 各単町の被害状況を把握し、各種団体への協力要請。炊き出し、軽微な負傷

者の手当て。

- (2) 本部として手に負えない被害、又は金銭的な問題については上部団体、区・市に要請。

9 タイムテーブル (案)

時間	時間	訓練項目
<13日>		
14:00	14:00	集合
	14:10	訓練開始
		会長挨拶
		委員長挨拶
	14:30	防災講話
15:00		危機管理対策室
		白石区役所
	15:30	学校見学
16:00	16:00	避難所立ち上げ訓練
		・鍵開け
		・受付の設置
		・体育館での滞在エリアの設置
		・断水時のトイレ使用のルール貼り紙
		・備蓄物資の確認と展開
		照明、暖房、寝袋
		・段ボールベッドの組み立て
18:00	18:00	調理室と器材を使用し、夕食の準備
19:00		
20:00	20:00	自由時間
<14日>		
6:00	6:00	起床
	6:30	調理室と器材を使用し、朝食の準備
7:00		
	7:30	朝食
8:00	8:00	後片付け
	8:30	訓練の振り返り
9:00	9:00	解散

【大谷地小学校への要請、確認】

- 1 訪問日時
令和元年8月28日（水） 10時～
- 2 同行者
板垣会長、長井顧問、小笠原委員長、福田委員（宿泊体験者）、中谷所長、日赤奉仕団、町内会連合会女性部
- 3 確認事項
 - (1) どのような施設の使用が可能か（再確認）
 - (2) 炊き出し用器具の有無
 - (3) 食器類の有無
 - (4) 停電時の対応は

【危機管理対策室等への要請】

- 1 危機管理対策室への要請
 - ア 備蓄品の使用、どのような物があるか
マット類、食器等、アルファ化米、クラッカー等
 - イ ダンボールベッドは必要か
危機管理対策室から貸し出し可能であるが、菊水の倉庫にあるため、引き取り、返却は町内会で行う。（市場販売価格は一個約1万円）
- 2 各機関、各団体への要請（速やかに）
 - ア 危機管理対策室
 - イ 札幌市白石区総務企画課地域安全担当
 - ウ 参加団体（白石東地区防災計画検討委員会メンバー）
- 3 ヤマヤ物産の炊き出し機材の必要性の検討

日時：令和元年9月17日（火）18時～

場所：白石東会館会議室

白石東地区防災計画検討委員会臨時小委員会



1 委員長挨拶

2 臨時小委員会

(1) 大谷地小学校訪問の結果報告

(2) 防災訓練の検討事項

3 その他



大谷地小学校訪問の結果

訪問日時：令和元年8月28日 午前10時～11時

- 1 避難場所の確認と平面図
 - ・ 体育館は33m×26m（ステージ除く）
 - ・ 寸法の入った図面はない（後日、寸法のない図面を入手）
- 2 どのような施設の利用が可能か
 - ・ 出入りは体育館横の学校開放用玄関を使用。
 - ・ 開放用のトイレは古いので、子供たちのトイレを使用。
 - ・ 乳幼児や障がい者用に1階のプレイルーム、保健室、このみ学習室が可能
 - ・ 2階の大谷地の広場も可能
- 3 炊き出し用の機材の有無
 - ・ 3階の家庭科室のガスコンロ、鍋、ガス。
- 4 食器等の有無・・・トレイ、スプーン、フォーク等の有無
 - ・ まな板、包丁、菜ばし。せともの食器を使ってもいいが、洗うこと。
 - ・ 紙食器、紙コップ、割り箸、ラップを用意。
 - ・ 洗剤、スポンジ、ぞうきんも用意。
- 5 停電時の対応（断水等）・・・水、トイレ使用、照明
 - ・ 衛生上、断水できないのでトイレは水道使用。
- 6 暖房関係
 - ・ 気温に応じて暖房は使用可。
- 7 宿泊者の用具・・・マット、毛布、食品等備蓄品の有無
 - ・ 寝袋、マット、毛布、非常食（アルファ化米）を備蓄。
 - ・ 豚汁やカレーを作るのであれば食材を用意する必要あり。
- 8 使用可能な備蓄物資の確認
 - ・ 白石区役所の所管のため、区役所に確認。
 - ・ 後で確認したところ、マット（1cm厚のウレタンマット）は使用可能。
寝袋、毛布、非常食は不可のため、危機管理対策室、白石区役所に依頼する。
- 9 その他
 - ・ ダンボールベットはしきりや収納箇所があり便利である。
 - ・ 体育館のステージには停電時に非常コンセントがある。（太陽光発電）
 - ・ ランタンが20台あり、倒れたら自動的にろうそくの火が消えるものである。
 - ・ 犬・猫等の動物は受け入れない。

防災訓練の検討事項

1 参加者の誘導等

- (1) 大谷地小学校への参加者の誘導については、各単町のマニュアルに基づいて実施する。
- (2) 集合時に参加者人数を確認後、班編成を行い、リーダーを決定。
- (3) 避難者（参加者）名簿を作成後、学校見学。

2 避難所の役割分担（案）

班名	業務内容	人数	町内会等
受付・誘導班	受付、誘導、名簿作成等	10	各単町の誘導班
情報班	情報収集、掲示板で内部に情報伝達 本部への被害状況等の報告	15	栄通 18、栄通 19・ 20、大谷地第一、下 白石東
食料・物資班	食料・物資の受入れ、配給	20	下白石、柏、南郷み そら、白樺、東白石
施設管理班	避難スペースの割り振り 施設の安全確認、夜間の見廻り	15	栄、大谷地第二、み つば、栄通 17
炊出し班	食事の支度	15	女性部、日赤奉仕団
救護班	病人、けが人等の対応	10	(民生児童委員)

3 宿泊者の対応

夕食の時間、食材。朝食も同様。

4 物資の借用

【危機管理対策室】

- ・ダンボールベッド 5 台、毛布 40 枚、寝袋 40 個、水 2 箱（48 本）
歯ブラシ 40 本、モンダミン数個 ⇒ 菊水倉庫
- 10 月 13 日（日）10 時菊水倉庫からトラックで搬出。人員 4 名
- 10 月 14 日（月）9 時に返却。人員 4 名

【白石区役所】

- ・アルファ化米 100 食
- ・クラッカー 100 食

【その他】防災備品の展示、説明

- ・札幌市危機管理対策室において、訓練当日に次の防災備品の展示と説明を行う。

ウォレットジャパン株式会社…コンテナ式トイレを展示

株式会社彩生…断熱材付のダンボールベット

株式会社ムラカミ…ダンボールベットや移動式灯油ストーブなど

ヤマヤ物産有限会社…炊出し機材やシャワールームなどの「まかないくん」

5 その他

マット 50 枚 白石東会館から 10 月 13 日搬出、14 日返却

日時：令和元年9月25日（水）18時～

場所：白石東会館1階ホール

第8回白石東地区防災計画検討委員会



1 会長挨拶

2 委員長挨拶

3 第8回委員会

（1）白石東地区防災訓練について

別添のとおり

（2）防災訓練の参加人数について

各団体は10月2日（水）までに参加者名簿を白石東まちづくりセンターに提出。（TEL 862-0813、FAX 862-8694）

（3）その他

4 その他

（1）白石東地区防災訓練

10月13日（日）13時50分 大谷地小学校体育館に集合



白石東地区防災訓練について

1 これまでの経緯

白石東地区では昨年、防災計画検討委員会を立ち上げ、地区防災計画を策定するため、全体会議を3回、小委員会を6回 合計9回の会議を開催しております。この検討委員会の会議において様々な問題点を討議し、下記のとおり10月13日（日）～14日（月）に防災訓練を実施することになりましたので、ご報告いたします。

2 防災訓練の趣旨

札幌市（白石東地区）において震度6弱以上の地震が発生したことを想定し、家屋全半壊、停電、断水などにより、地区の指定緊急避難場所（大谷地小学校）が開設された場合、避難者がどのような設備や用具等を使用することが可能かを認識し、また、どのようなところに問題があるかを把握し、今後の改善を図っていく。

3 訓練日時

【参加者全員】

10月13日（日）各単町の避難場所に集合後、13時50分までに大谷地小学校体育館に集合。16時00分終了。

【宿泊体験者】

その後、16時00分～14日（月）9時00分まで

4 参加人数

180人程度（宿泊体験人数 40人程度）

5 訓練内容

【参加者全員】

- ① 避難場所に集合《名簿作成》⇒避難所（大谷地小学校）までの避難ルート、所要時間の確認
- ② 防災に係わる講話
- ③ 避難所の使用可能な施設の見学、展示備品の見学

【宿泊体験者】

上記の訓練に加えて、避難所立ち上げ訓練及び次表のとおり避難所の役割分担を定め、避難所の運営訓練を実施する。札幌市・区担当者の協力体制として、班編成を組む。

班名	業務内容	町内会等
情報班	情報収集、掲示板で内部に情報伝達 本部への被害状況等の報告 使用可能な施設等、各種情報を黒	栄通18、栄通19・ 20、柏、下白石東

	板・ボード等に張り出し、明示	
食料・物資班	食料・物資の受入れ、配給	下白石、大谷地第一、南郷みそら、白樺、東白石
施設管理班	避難スペースの割り振り 施設の安全確認、夜間の見廻り	栄、大谷地第二、みつば、栄通 17
炊出し班	食事の支度	女性部、日赤奉仕団
救護班	病人、軽微なけが人等の対応	(民生児童委員)

7 タイムテーブル

別紙 1 のとおり (P 4)

8 使用可能施設及び借入れ物品等

別紙 2 のとおり (P 5)

9 大谷地小学校 教室等配置図

別紙 3 のとおり (P 6)

10 防災備品の展示・説明

札幌市危機管理対策室において、訓練当日に次の防災備品の展示と説明を行う。

- ・コンテナ式トイレ
- ・断熱材付のダンボールベット
- ・移動式灯油ストーブ
- ・炊出し機材やシャワールームなど

11 その他

- (1) 参加者は上履き、履物を入れる袋を持参すること。
- (2) 宿泊体験者は、懐中電灯を持参願います。

白石東地区防災訓練 タイムテーブル

別紙 1

【日時】 10/13 (日)13:00~10/14(月)9:00 【会場】 大谷地小学校

時間	時間	訓練項目
<13日>		【参加者全員】
13:00		各単町の避難場所に集合（名簿作成）
	13:50	大谷地小学校体育館に集合
14:00	14:00	会長挨拶
		委員長挨拶
	14:20	防災講和
	(20分)	札幌市危機管理対策室
	(20分)	白石区役所（総務企画課地域安全担当）
15:00	15:00	学校見学
		防災備品の展示・説明
		（終了後、一般参加者は解散）
		【以下、宿泊体験者】
16:00	16:00	避難所立ち上げ訓練
		・ 鍵開け
		・ 受付の設置
		・ 体育館での滞在エリアの設置
		・ 断水時のトイレ使用のルール貼り紙
		・ 備蓄物資の確認と展開
		照明、暖房、寝袋
		・ 段ボールベットの組み立て
18:00	18:00	調理室と機材を使用し、夕食の準備
20:00	20:00	避難所の巡回警備
<14日>		
6:00	6:00	起床
	6:30	調理室と器材を使用し、朝食の準備
7:00		
	7:30	朝食
8:00	8:00	後片付け
	8:30	訓練の振り返り
9:00	9:00	解散

使用可能施設及び借入れ物品等

別紙 2

箇所	施設及び物品等	搬出等
大谷地小学校	<p>1 使用教室等 体育館、1階トイレ、プレイルーム、ごみ保管庫 3階家庭科室、グラウンド（一部）</p> <p>2 使用設備等 各教室等の照明設備。ランタン（19台） 体育館の放送設備、演台、暖房設備。 家庭科室のガスコンロ、冷蔵庫、流し台、鍋、包丁、 まな板、ポット等。 会議用長テーブル（8台）、椅子（100脚）。 水道、電気及びガス。</p> <p>3 見学教室等 1階 体育館、トイレ、プレイルーム、ごみ保管庫、 このみ教室、保健室。 2階 大谷地の広場、備蓄庫。 3階 家庭科室</p>	
危機管理対策室 白石区役所	<p>1 防災備品の展示、説明 簡易型水洗トイレ、ベッド、調理機材等</p> <p>2 宿泊等に係る物資の借用 段ボールベット 5台 毛布 45枚 寝袋 40枚 水 2箱（48本） 歯ブラシ 40本 モンダミン 数個 以上、菊水倉庫 アルファ化米 100食 クラッカー 100食</p>	<p>菊水倉庫の 物品はトラ ックを手配 し、10月13 日(日)10時 搬出 (市担当者 2名対応)</p>
白石東地区町 内会連合会	マット 50枚、ブルーシート	マットはト ラック手配

日時：令和元年10月9日（日）18時～

場所：白石東会館1階ホール



第9回白石東地区防災計画検討委員会

1 会長挨拶

2 委員長挨拶

3 第9回委員会

(2) 各班より

(2) 参加人数、タイムテーブル

(3) 学校見学

町内会毎に、「大谷地小学校 教室等配置図」(P3)により見学。

(4) その他

4 その他



日時：令和元年11月8日（金）18時～

場所：白石東会館1階ホール

第10回白石東地区防災計画検討委員会



1 会長挨拶

2 委員長挨拶

3 第10回委員会

(3) 白石東地区防災訓練のアンケート結果

(4) 震災を経験した市町村の避難所開設状況

(3) その他



第10回防災計画検討委員会（議事概要）（1.11.8）

出席者：別添のとおり

1 白石東地区防災訓練のアンケート結果

□林会長よりアンケート結果を説明。

- ・アンケートでは厳しい意見もあるが、今後どのように改善していくかが重要。
- ・受付には1時間以上の時間がかかった。
- ・暖房については、トイレ近辺の廊下のみ入れた。室内が寒いのはおかしいとの意見があった。
- ・経験のない中で短い時間で作業した。つたない資料の中で各班作業をしていただきありがとうございました。

2 震災を経験した市町村の避難所開設状況

□小笠原委員長より説明。

- ・厚真町には実際に行って確認した。
- ・3月の防災計画の策定にあたり、少しでも参考になればと思っている。

□質問・応答

（藤川会長）厚真町の避難所開設のタイムスケジュールにおいて、実際に動き出したのはどのくらいなのか、言っていたか。

（小笠原会長）そこまでは確認していない。

（林会長）9月6日3時7分に地震が発生し、消防庁のまとめでは消防関係の応急対策室が1時間後には動き出した。赤十字関係も同じころに動き出した。地区の防災組織はかなり遅れていると思われる。3日目くらいから軌道に乗ったとの記載がある。小笠原委員長に資料を渡すので、興味があれば見てください。

（松村）避難所開設は相当遅れたということか。

（早川係長）正直わからないが、全体の印象としては厚真町の場合は上手にやったという評価である。

（小笠原会長）そのようなことも改めて聞こうと考えている。

（松村）自治体によっては家が潰れていなければ、待機せよとのところもあると聞いている。避難所が少ないから。厚真町の場合はどうなのか。

（小笠原会長）わからないが、場所によって被害状況が違っている。山崩れは中心部から20分くらいのところであった。

3 その他

□板垣会長から

- ・これで防災計画検討委員会は終了する。（防災計画の検討は）今回限りでは、終わりではなく、毎年やっていかなければならない。一つ一つの積み重ねが、

それぞれの地域にとって参考になる。それを基に訓練も考えていかなければならない。次年度も小委員会、拡大委員会は継続してやっていきたい。

- これまでの取り組みに関して報告書を作りたい。編集委員として林会長、石山さん、小笠原委員長等になってもらい報告書を上げたい。報告書に基づいて議論するという事にはならないので、単位町内会で利用していただきたい。

編集委員会を作りたいので、委員については私に一任していただきたい。

□小笠原委員長から

- 今回の訓練でご尽力された林会長と石山きよみさんに感謝申し上げます。

□早川係長から

- アンケートについて、これだけまとめるのは大変である。地区防災計画の骨子、素案を作らせていただくので、実施結果の一つとして取り入れていただきたい。避難所訓練でも混乱しているので、実際の地震の場合はもっとひどいことが起こるとの意識が必要。
- マニュアルにすることと、敢えてしないことも必要。ルールが決まっていない中での訓練も重要である。

□尾崎係長から

- 短期間で準備され大変ご苦労様でした。私達もイザ！カエルキャラバン！という子供向けのイベントを行っており、繰り返し行うことが大事である。

□石山さんから

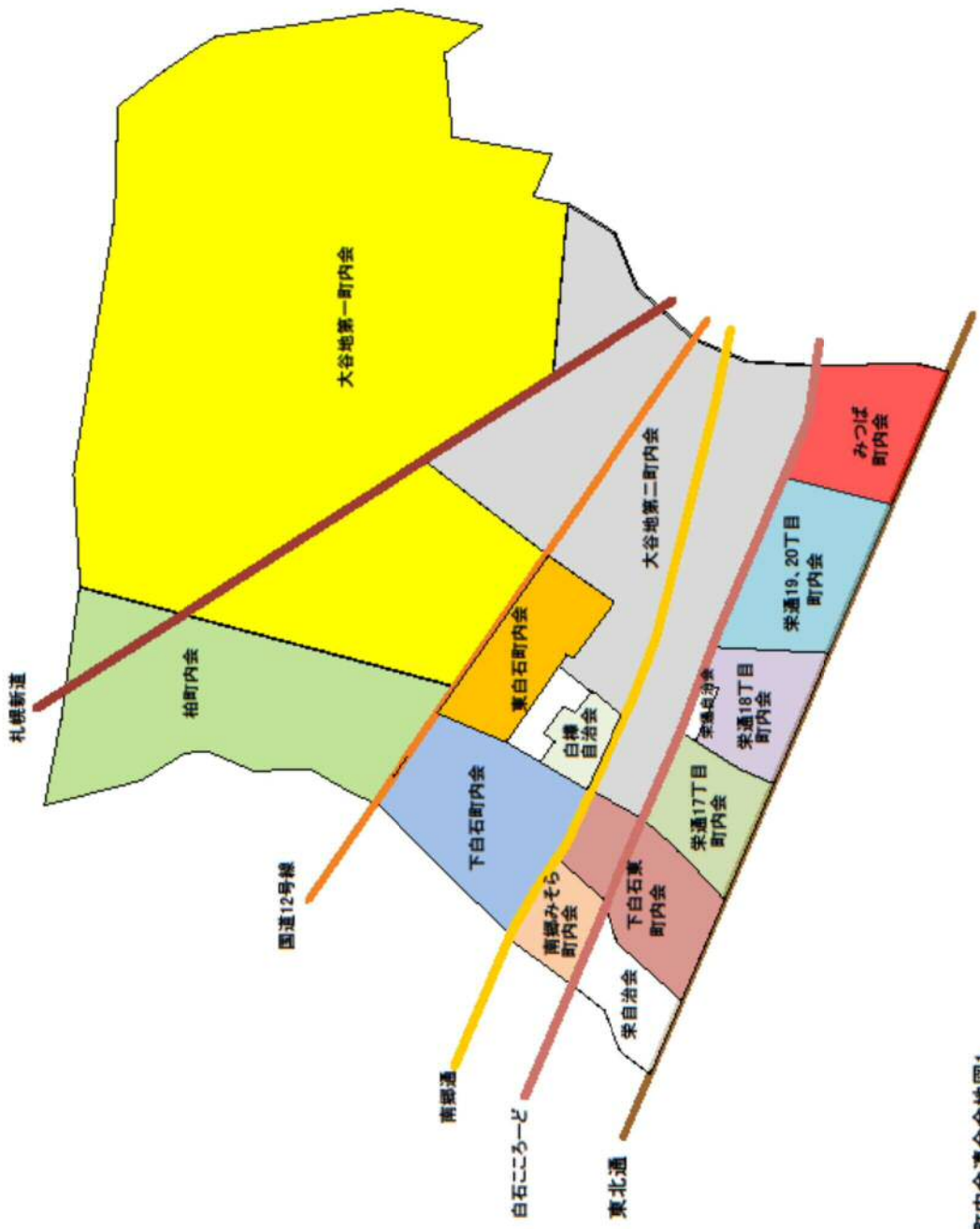
- 各班より資料の提出をお願いします。

□早川係長から

- 今回の訓練を踏まえて一旦、地区防災計画をまとめられてはと思う。私の方で骨子を作っている。13 単位町内会で自主防災組織があり、白石東地区での役割分担がある。訓練メニュー、アンケートについて、前向きな指摘を抜き出して、課題として次年度に向けて検討する。2 年目までの活動をまとめて、危機管理対策室で素案を作って役員に見ていただきたい。そして、札幌市の地域防災会議に諮りたい。
- (板垣会長) 編集委員会で防災計画を取りまとめる。
- 来年の地区防災会議で今年度中の取り組みを地区防災計画として位置付けるためには、11 月末か 12 月初めに案がまとまっていないと今年度のものにはならないので、ご検討いただきたい。
- (板垣会長) 編集委員と相談して結論を出す。

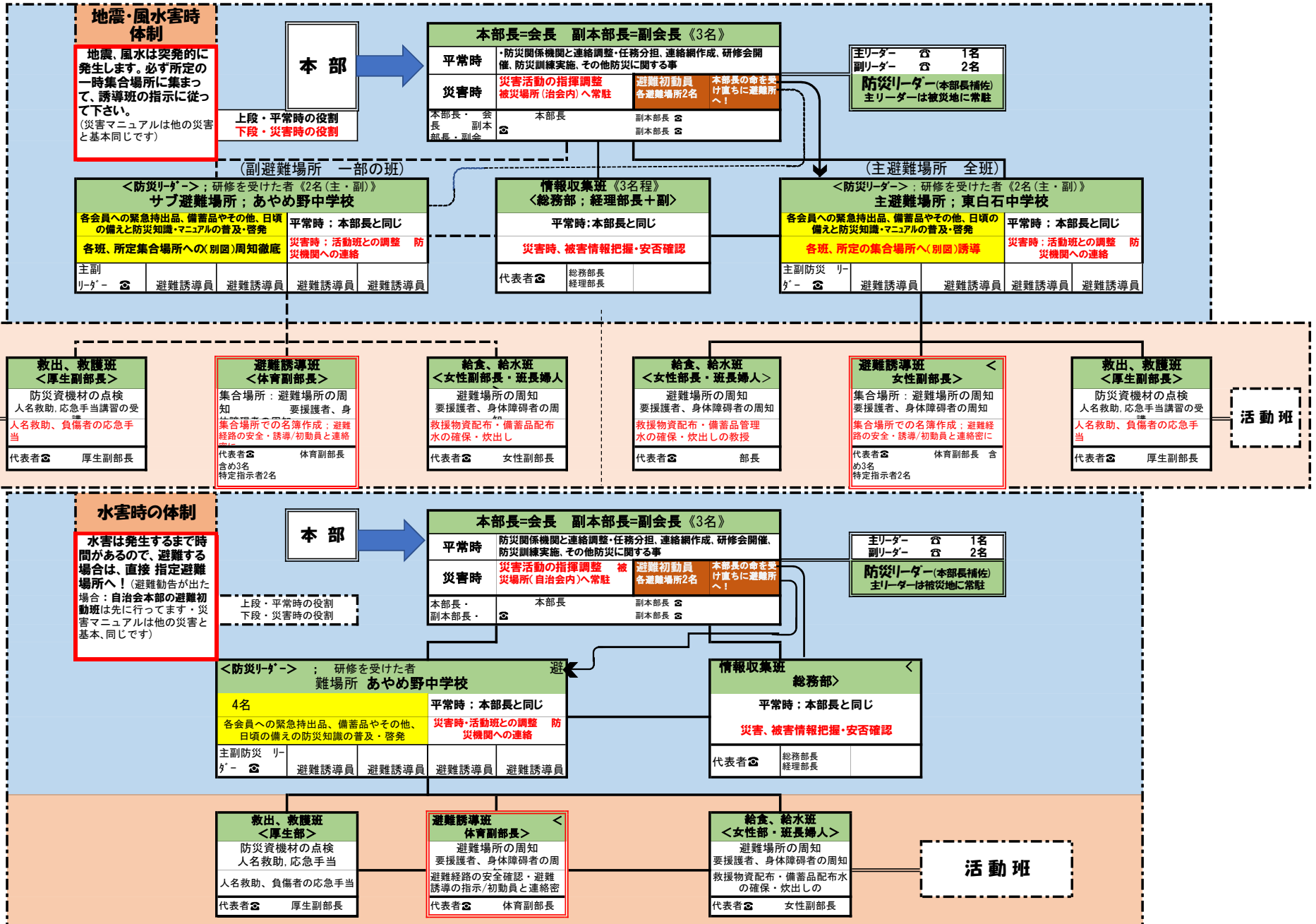
町内会別マップ及び防災組織図

- 白石東地区全体マップ
- 各町内会の組織図とマップ
 - ・ 栄自治会
 - ・ 下白石東町内会
 - ・ 下白石町内会
 - ・ 東白石町内会
 - ・ 白樺自治会
 - ・ 大谷地第一町内会
 - ・ 大谷地第二町内会
 - ・ みつば町内会
 - ・ 柏町内会
 - ・ 栄通 17 丁目町内会
 - ・ 栄通 18 丁目町内会
 - ・ 栄通 19・20 丁目町内会
 - ・ 南郷みそら町内会

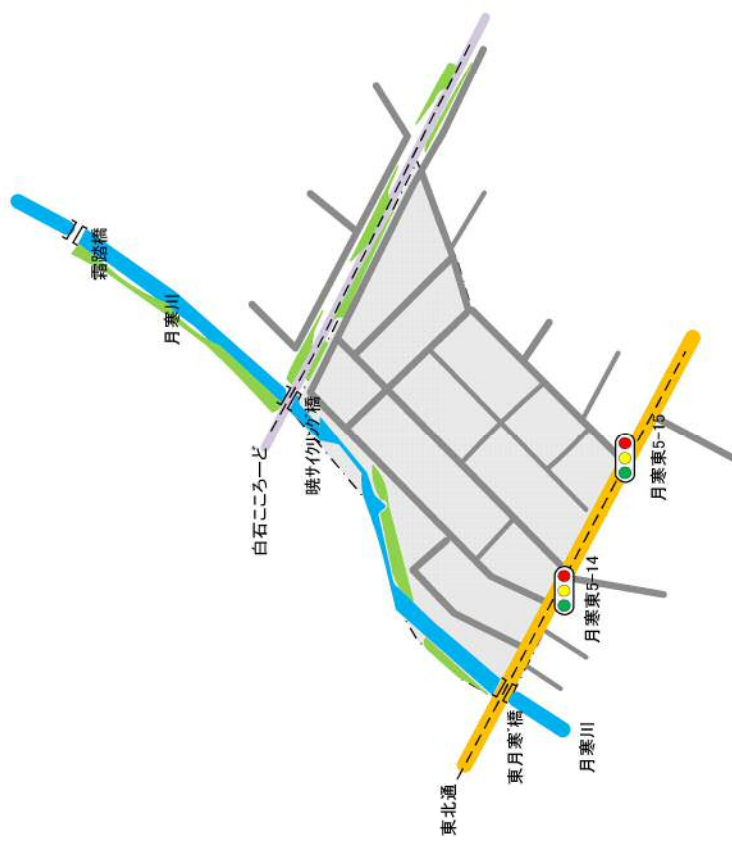


白石東地区町内会連合会地図1

栄自治会 自主防災組織フローチャート図 上段=地震時等の体制 下段=水害時の体制 (指定避難場所に変更場合があります)



	まちづくりセンター
	町内会館
	幼稚園
	保育所
	児童会館
	介護予防センター
	老人ホーム
	地域包括支援センター
	ケアハウス
	グループホーム
	障がい者サロン
	地域サロン
	子育てサロン
	高齢者サロン
	障がい者サロン
	病院
	消防
	交番
	郵便局
	広域避難場所
	基幹避難場所
	地域避難場所
	応急給水拠点施設
	コンビニストア
	公園・緑地
	信号機
	駅

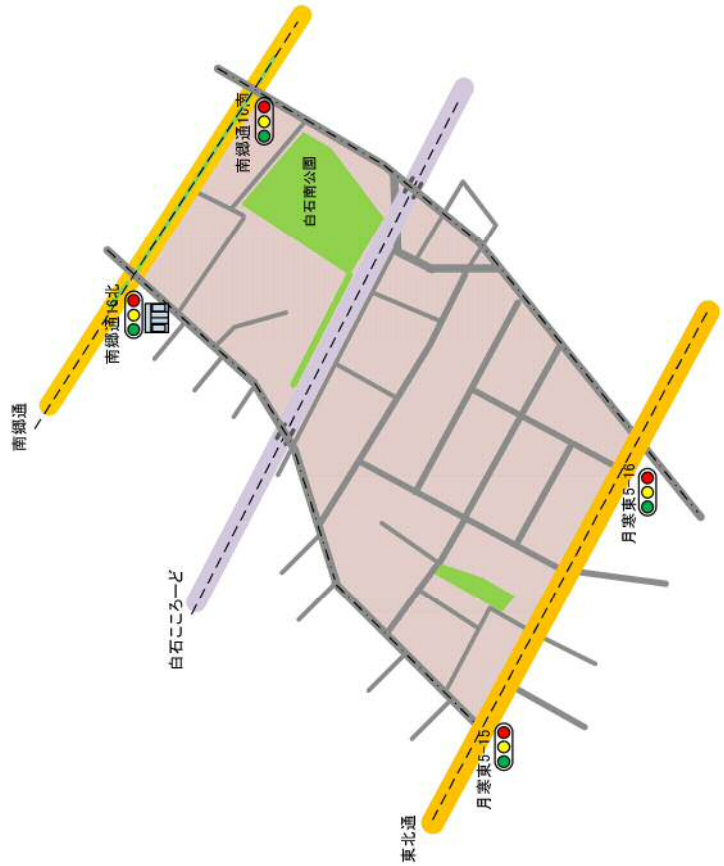


栄自治会

下白石東 防災組織

町内会組織	災害時の役割		
会長	本 部	本部長	応急対策活動などの指揮調整
副会長		副本部長	本部長の補佐
総務部長		統括部長	各種情報の連絡・集約
防火防犯部長		防災部長 (防災リーダー)	活動班との調整、防災機関への連絡
会計部長	活 動 部	状況連絡班 要配偶者支援班	被害状況の把握、安否確認 要配偶者の避難誘導
衛生部長		消火班 救出救護班	出火防止の呼びかけ、初期消火
交通安全部長		避難誘導班	避難経路の安全確認、避難誘導
女性部長 (副部長)		救急給水班	要配偶者の避難誘導
班長 (20班～20名)		各活動部の副部長	各所属の部長補佐及びその指示に従う

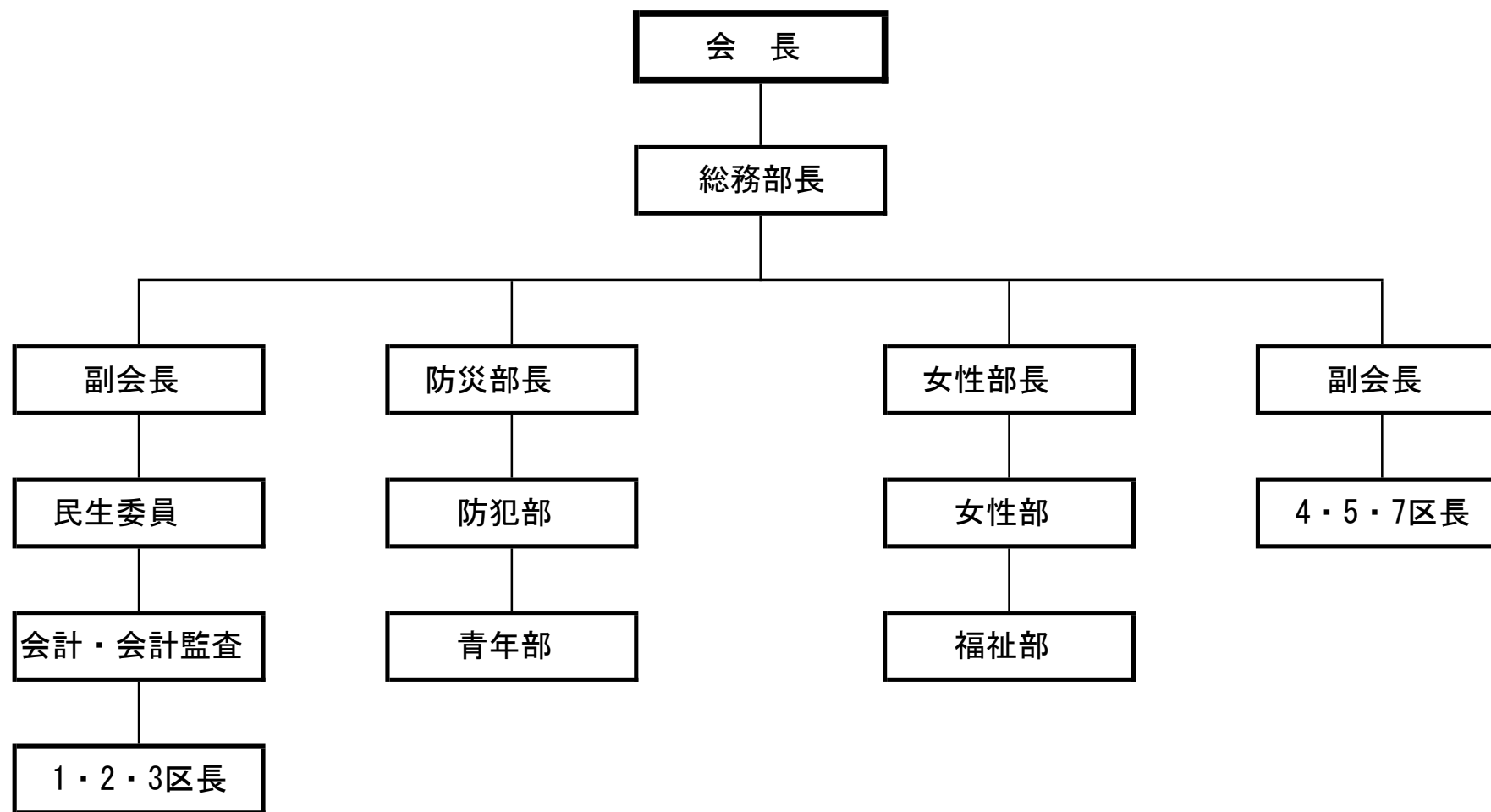
	まちづくりセンター
	町内会館
	幼稚園
	保育所
	児童会館
	介護予防センター
	老人ホーム
	地域包括支援センター
	ケアハウス
	グループホーム
	障がい者サロン
	地域サロン
	子育てサロン
	高齢者サロン
	障がい者サロン
	病院
	消防
	交番
	郵便局
	広域避難場所
	避難場所
	地域避難場所
	応急給水拠点施設
	公園・緑地
	信号機
	駅

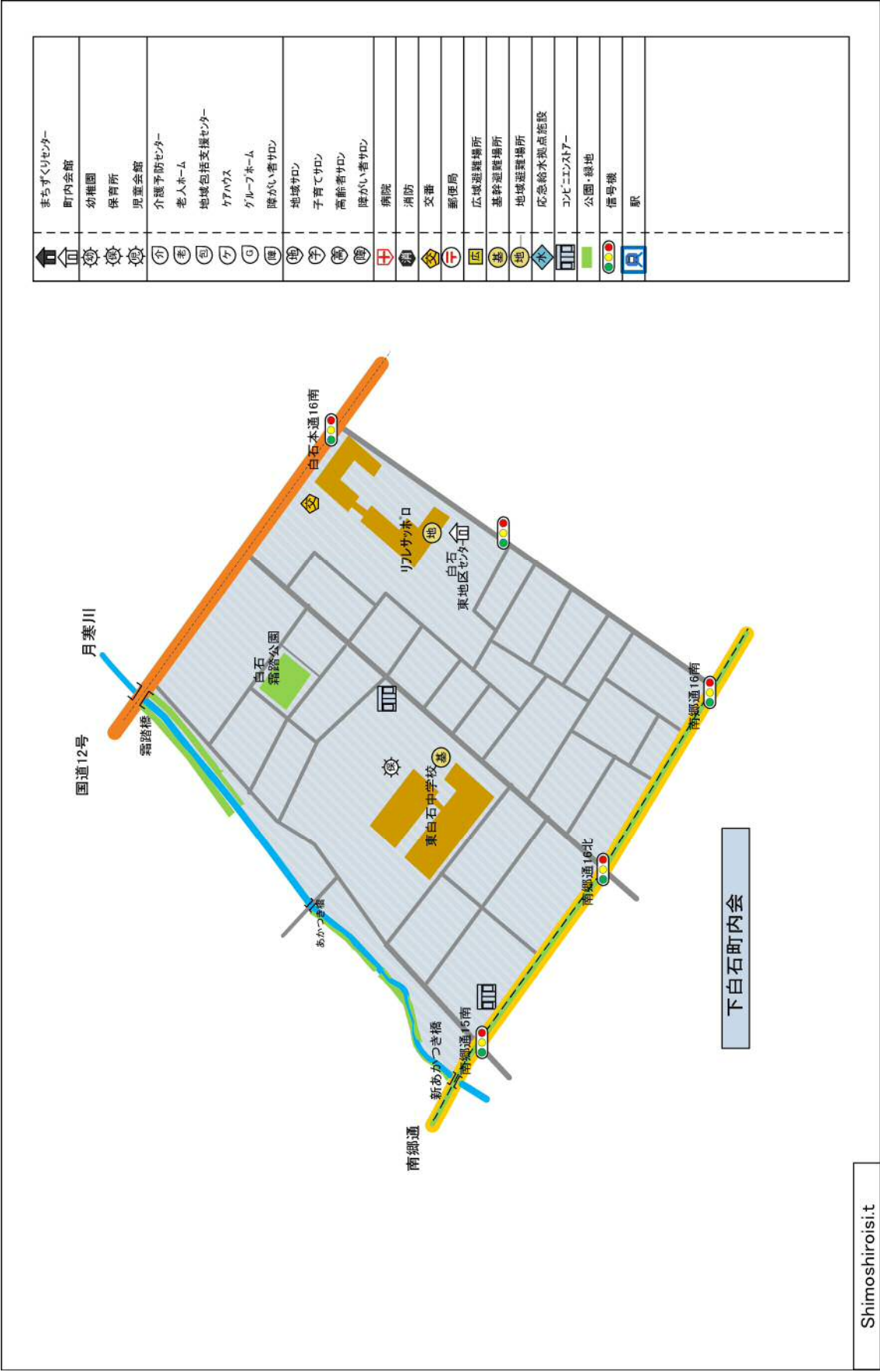


下白石東町内会

Shimoshiroishigashi.t

下白石町内会防災組織図



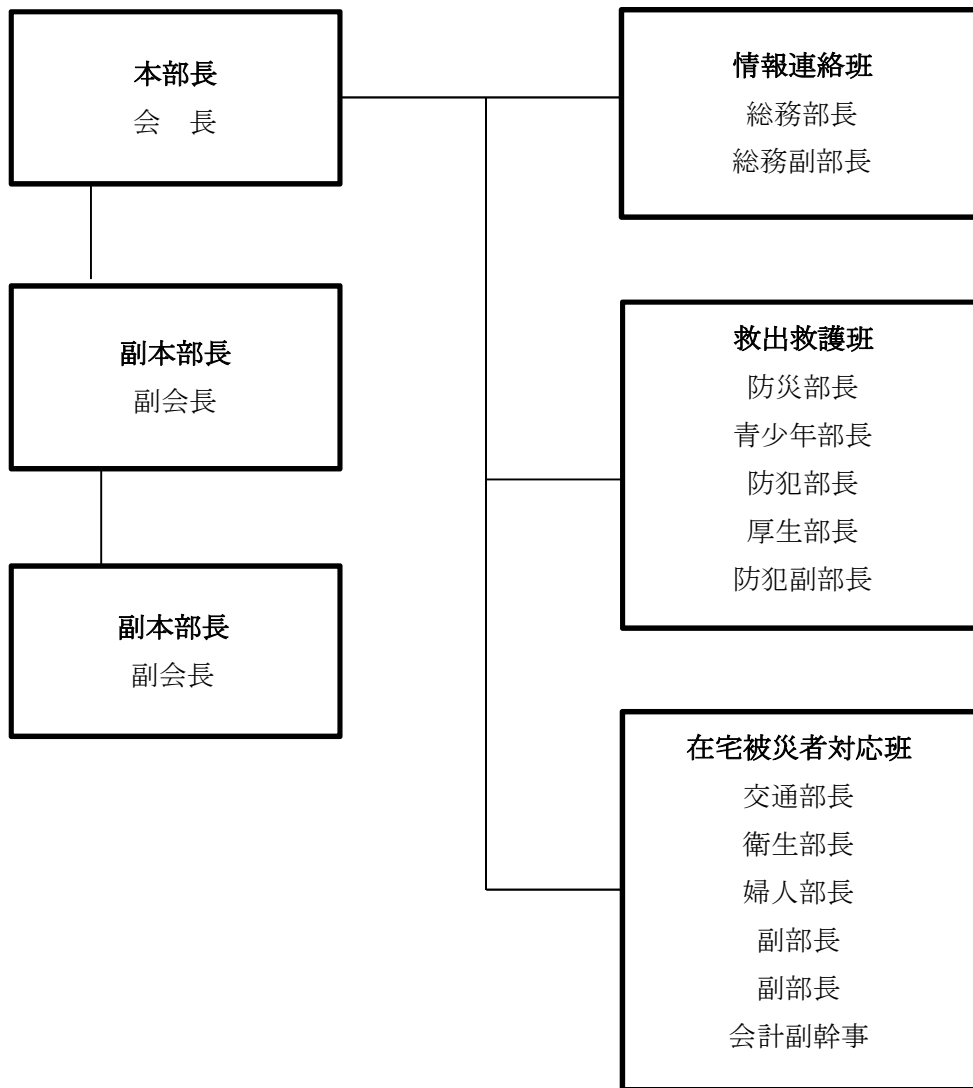


東白石町内会 防災組織

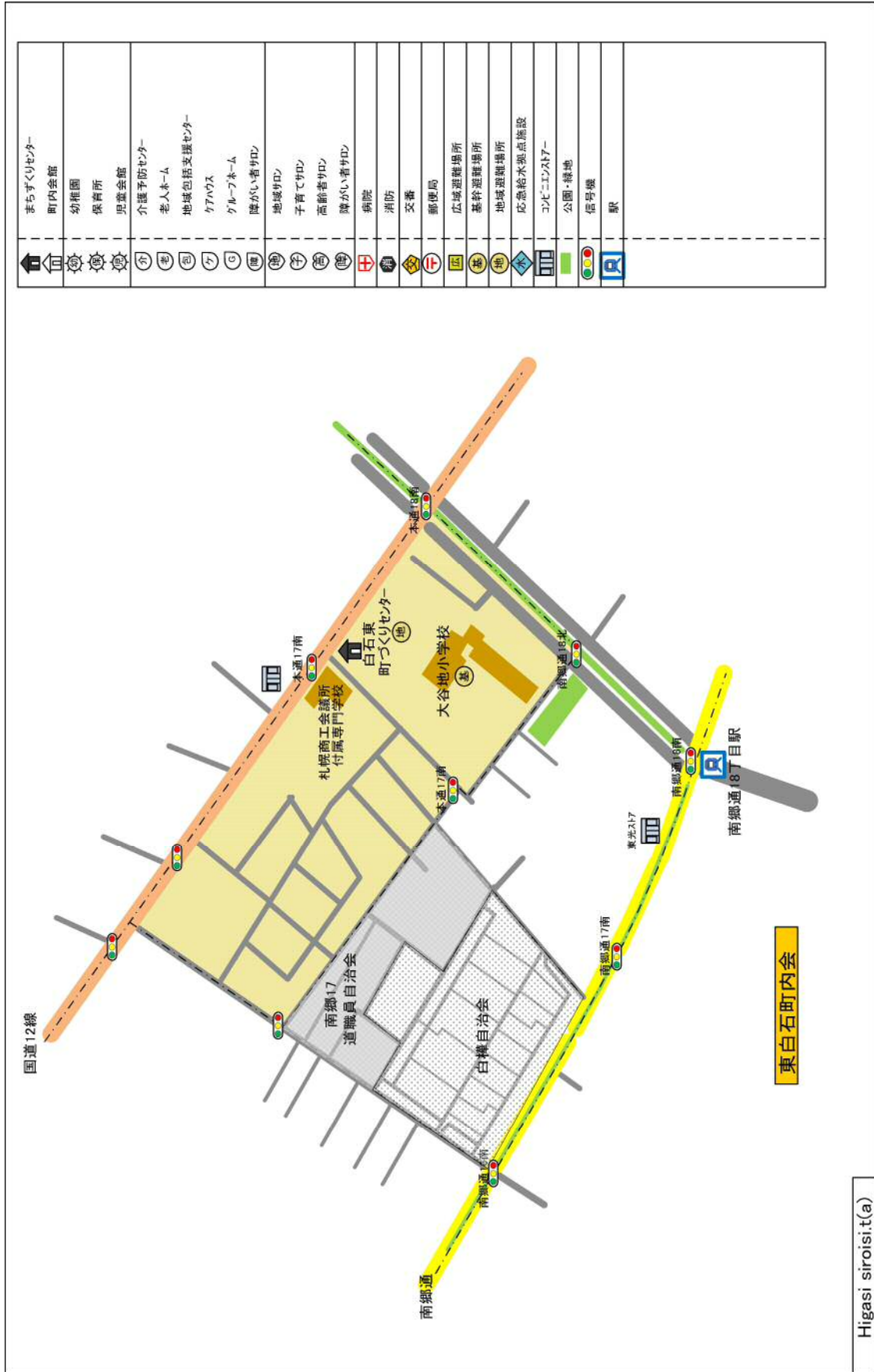
札幌市災害対策本部 211-2266

避難場所 大谷地小学校 863-5790

災害が起こった場合の行動の基本手順は、担当エリアの点検、連絡網によるものとするが、常に不測の事態に鑑み、個々の判断で可及的速やかに状況把握のうえ本部長・副本部長に連絡する

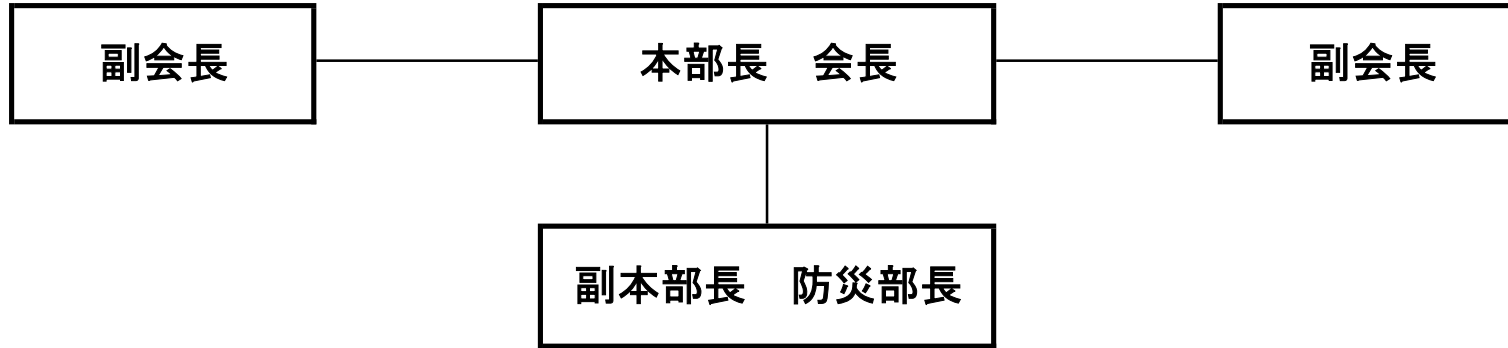


H.31.03.02



Higasi siroisi.t(a)

白樺自治会 自主防災組織図






























-83-

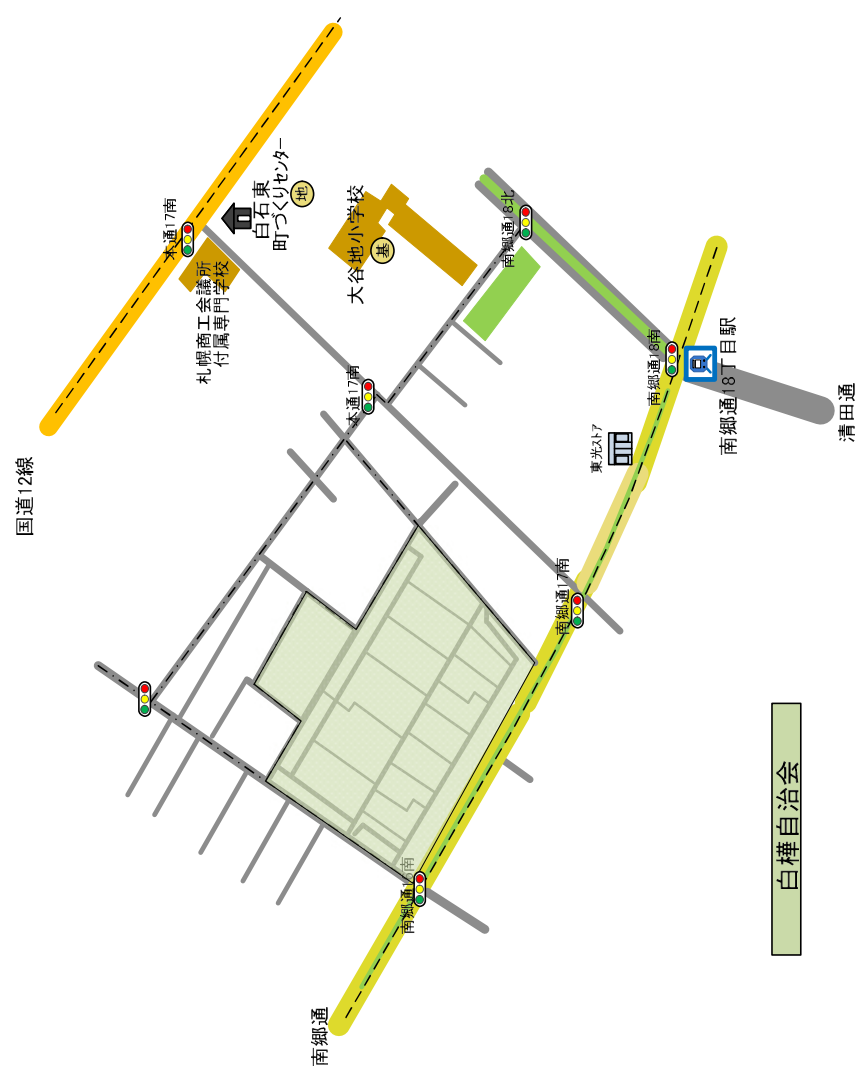


各棟の役員・班長・集金係で各階段を点検する

防災の取り組み方

- ①自分の家の安全を確保した上で行動する
- ②状況を見て会長は避難所を開設する
- ③状況を見て副会長は外から各戸を確認する
- ④各棟の役員・班長は状況を会長に連絡する
- ⑤事故の場合は先に救急または警察に連絡する

	まらずくりセンター
	町内会館
	幼稚園
	保育所
	児童会館
	介護予防センター
	老人ホーム
	地域包括支援センター
	ケアハウス
	グループホーム
	障がい者サロン
	地域サロン
	子育てサロン
	高齢者サロン
	障がい者サロン
	病院
	消防
	交番
	郵便局
	広域避難場所
	基幹避難場所
	地域避難場所
	応急給水拠点施設
	コピエンストア
	公園・緑地
	信号機
	駅

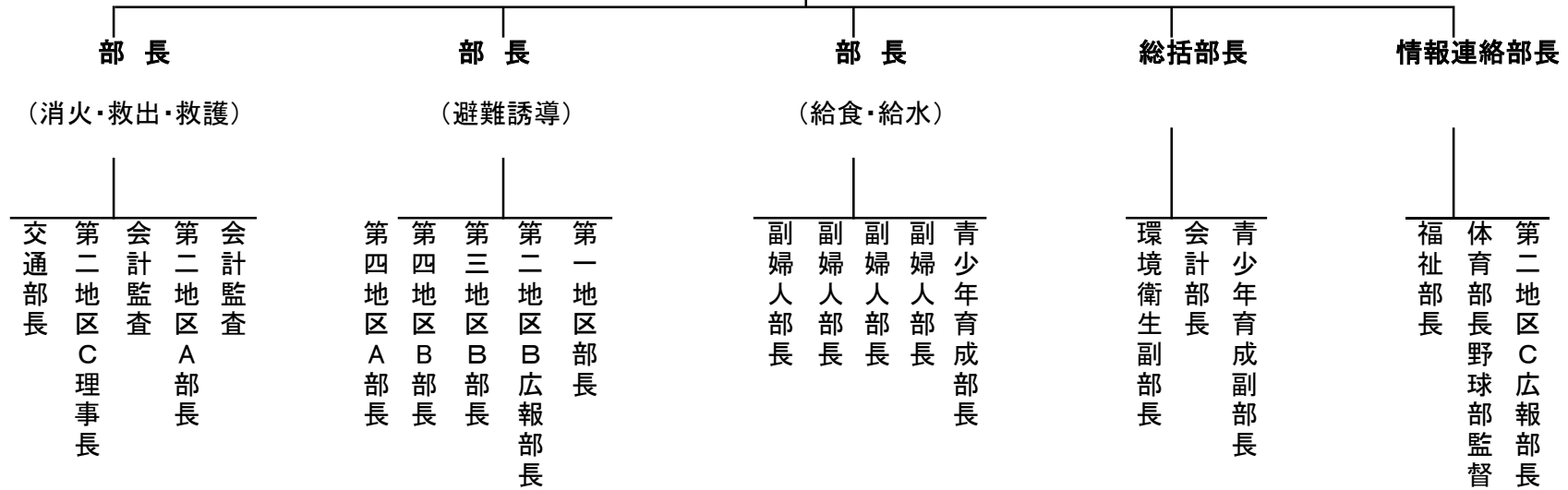


Sirakaba(a)

大谷地第一町内会 自主防災組織編成表

本部長

副本部長



消火・救出・救護班

- ☆初期消火
- ☆倒壊家屋等より救出
- ☆怪我人救護

避難・誘導班

- ☆避難場所(学校・公園)誘導
- ☆安全場所の確保

給食・給水班

- ☆給食数確認要請
- ☆給水場所(給水の確保)

情報連絡班

- ☆町内の情報収集
- ☆札幌市・白石区連絡事項の伝達

平成31年4月29日作成

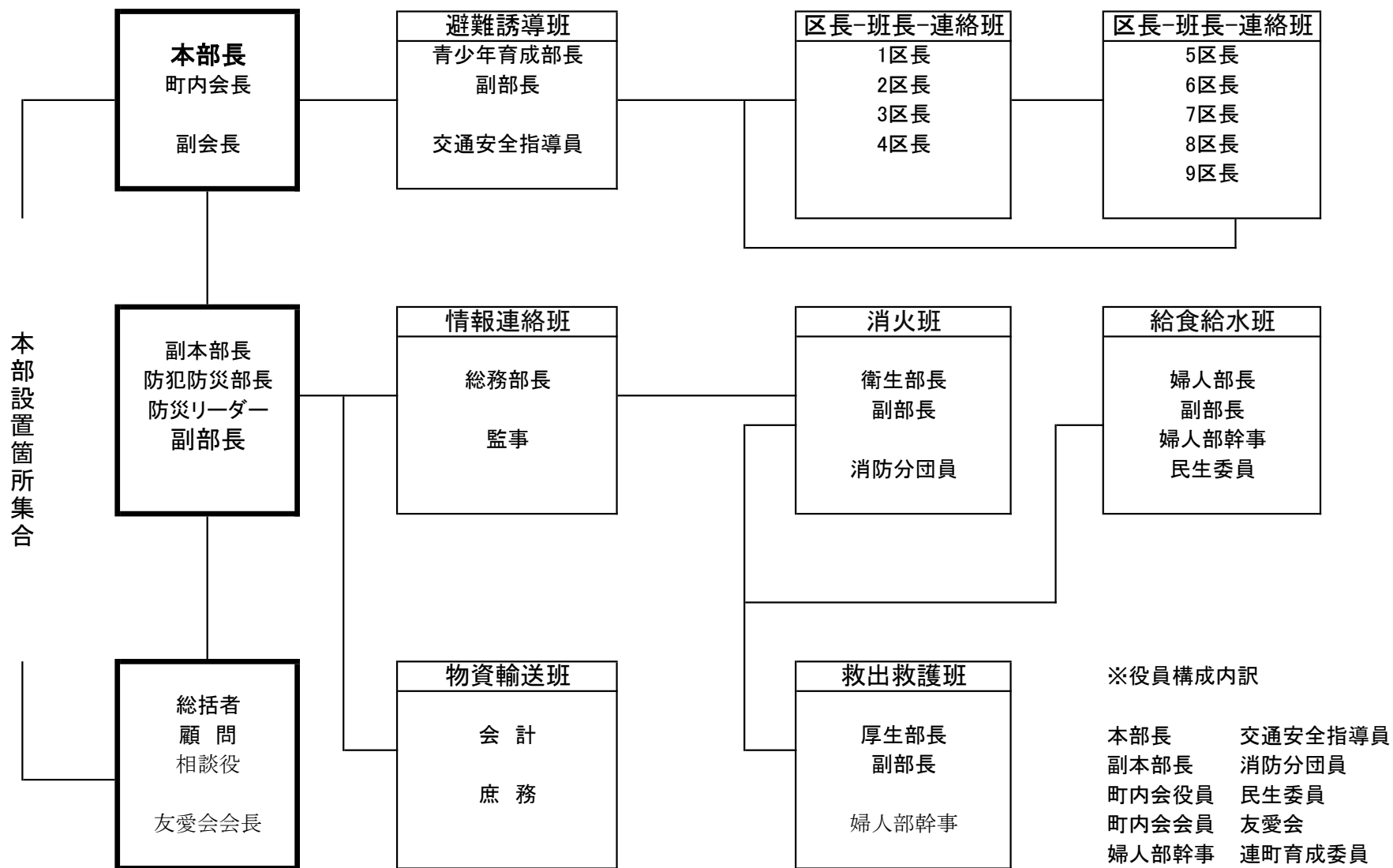
	まちづくりセンター
	町内会館
	幼稚園
	保育所
	児童会館
	介護予防センター
	老人ホーム
	地域包括支援センター
	ケアハウス
	グループホーム
	障がい者サロ
	地域サロ
	子育てサロ
	高齢者サロ
	障がい者サロ
	病院
	消防
	広域避難場所
	最終避難場所
	地域避難場所
	応急給水拠点施設
	郵便局
	コンビニエンス
	公園・緑地
	信号機
	駅



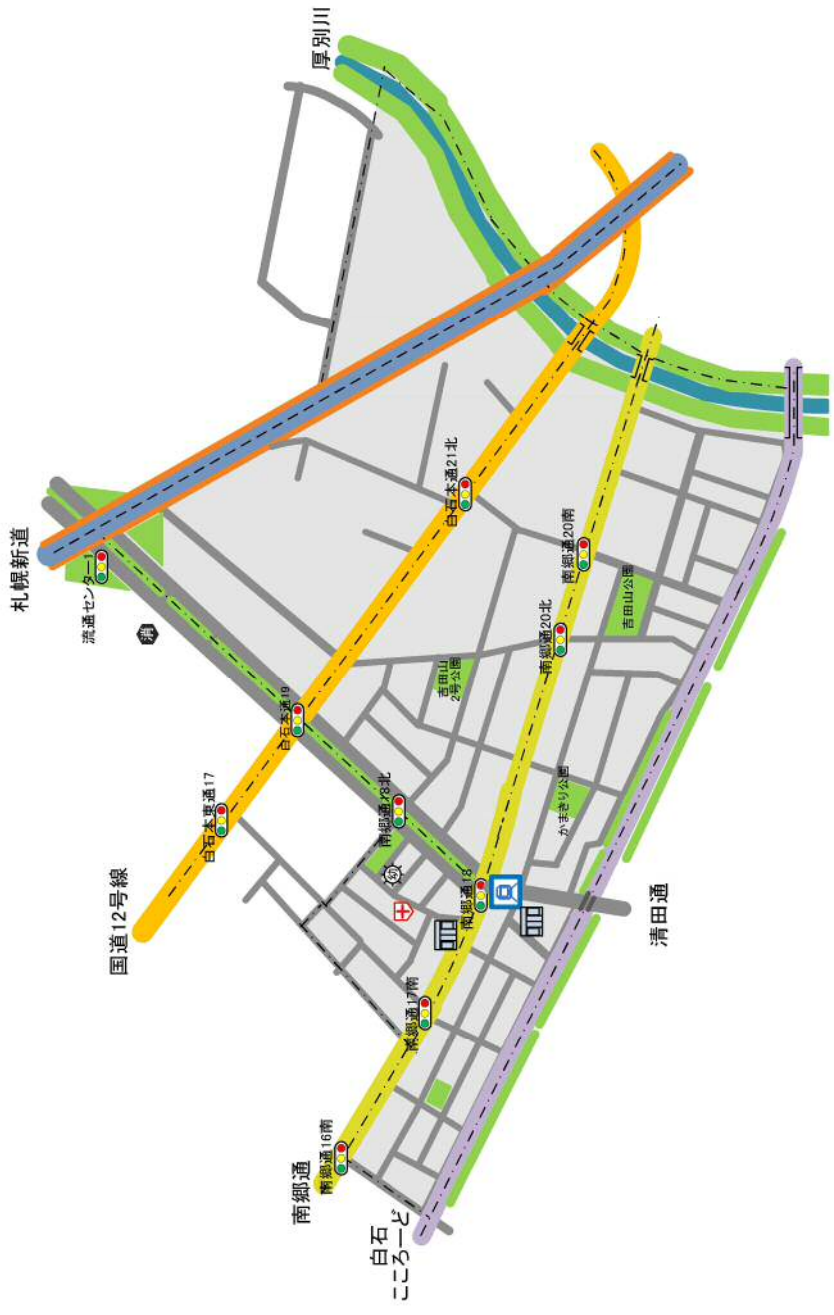
大谷地第一町内会

Ooyati dai1.t

地震等災害対策連絡系統組織図(大谷地第二)



	まちづくりセンター
	町内会館
	幼稚園
	保育所
	児童会館
	介護予防センター
	老人ホーム
	地域包括支援センター
	ケアハウス
	グループホーム
	障がい者サロン
	地域サロン
	子育てサロン
	高齢者サロン
	障がい者サロン
	病院
	消防
	交番
	郵便局
	広域選抜場所
	基幹選抜場所
	地域選抜場所
	応急給水拠点施設
	コンビニエンスストア
	公園・緑地
	信号機
	駅



大谷地第二町内会

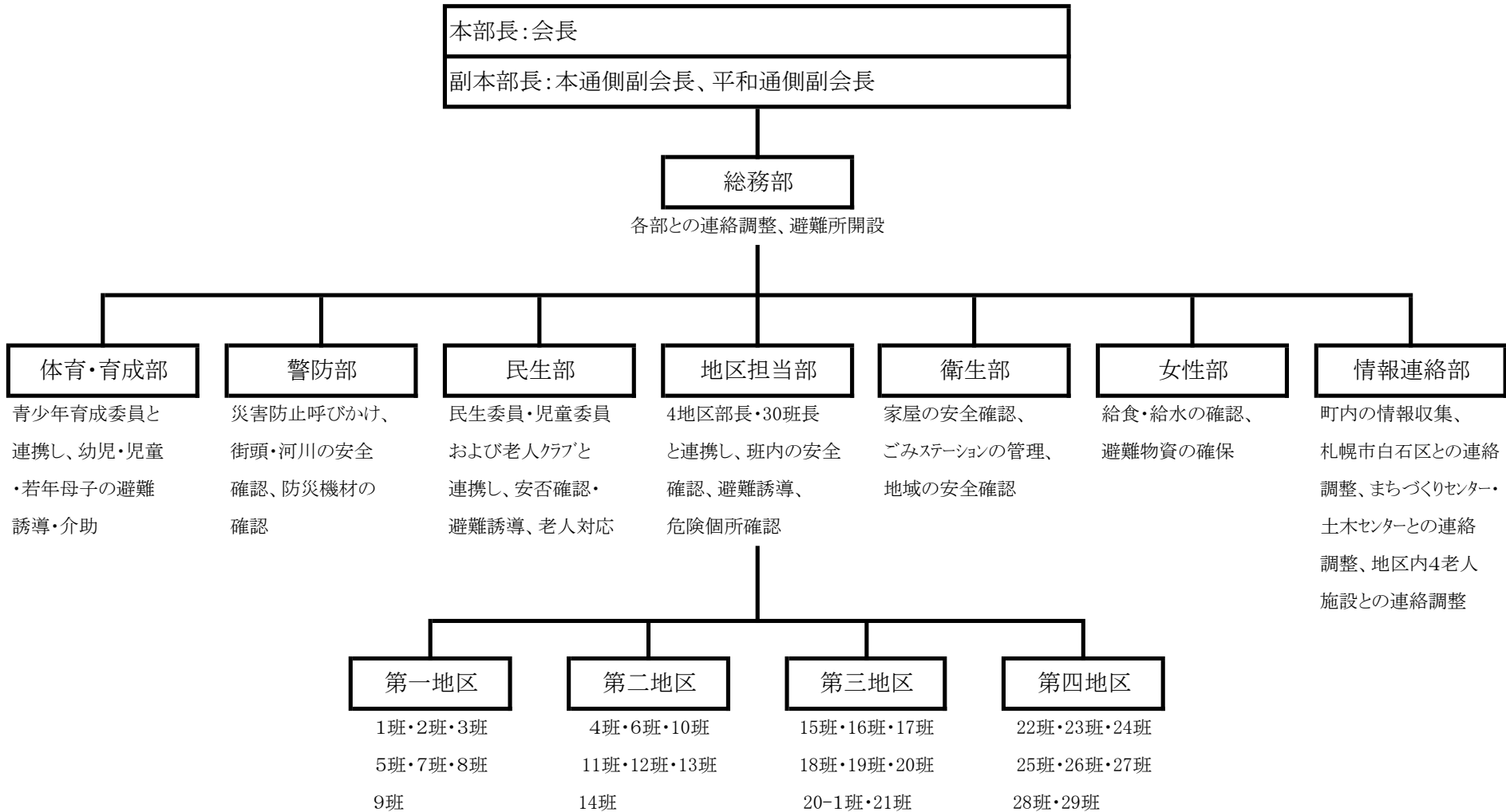
みつば町内会 自主防災組織図





Mituba.t

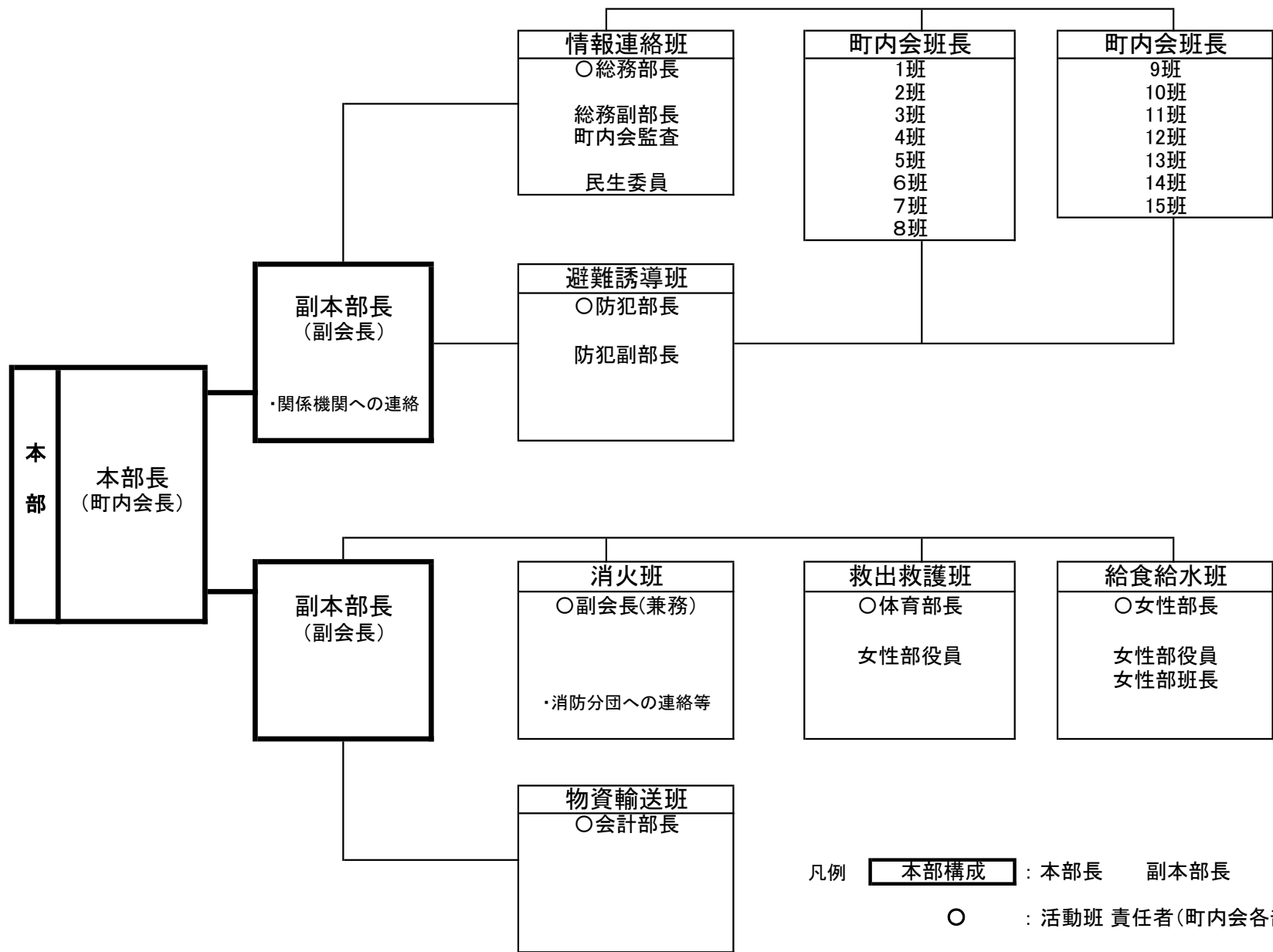
柏町内会自主防災組織図



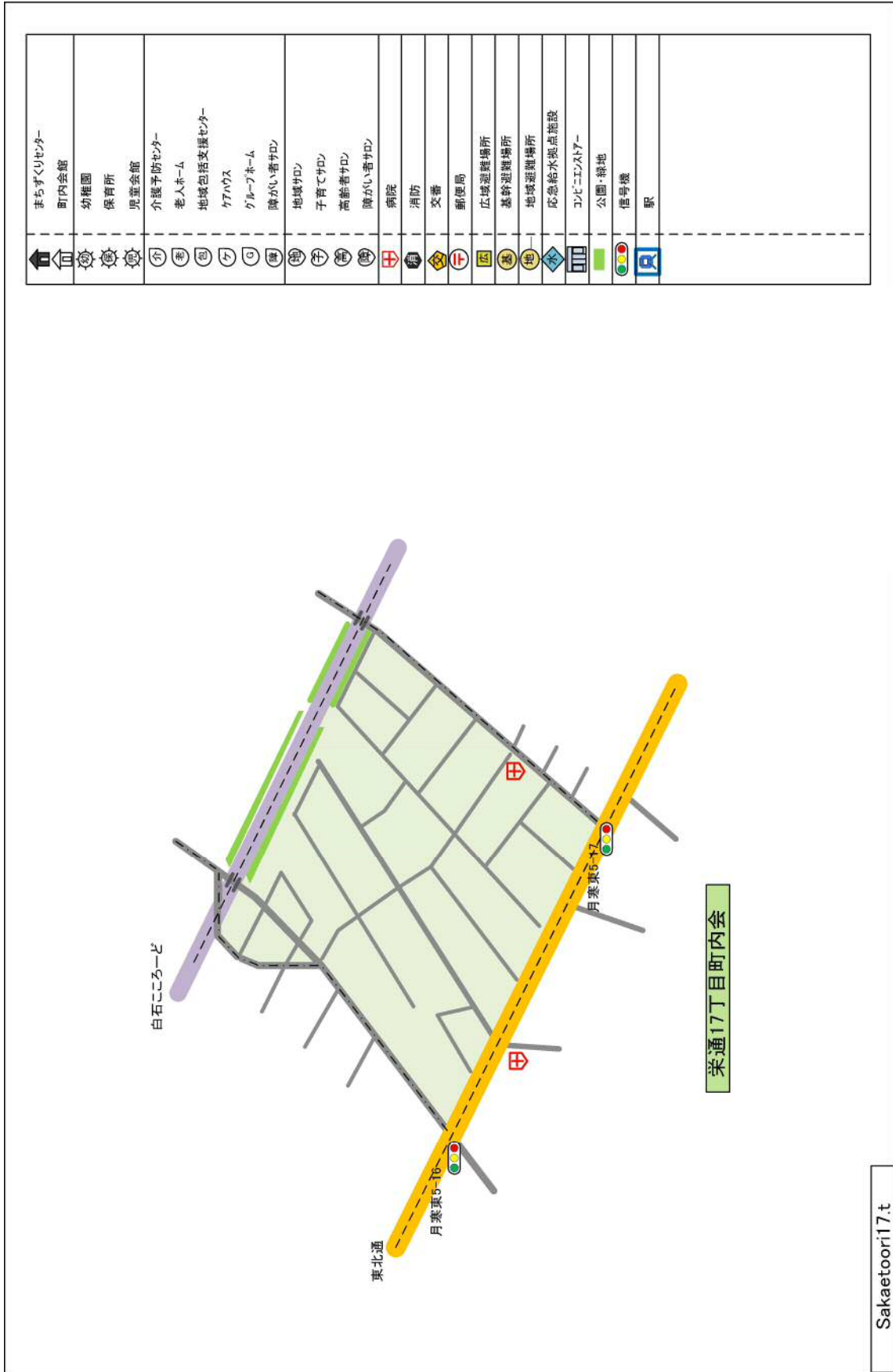
班長の仕事内容は、会費の徴収・広報さっぽろの配布、回覧の配布、行事への参加、参加者の集約など多岐にわたっております。

災害時には、いち早く班内の状況を把握し、地区部長への連絡および避難体制が求められている所です。

地震等災害対策連絡系統組織図(栄通17丁目)



凡例 **本部構成** : 本部長 副本部長
○ : 活動班 責任者(町内会各部長)



Sakaetoori17.t

相 談 役

監 事

-95-

町内会役員外協力員
地域外協力員
民間企業

白石警察署

白石消防署

白石区地域振興課

白石まちづくりセンター

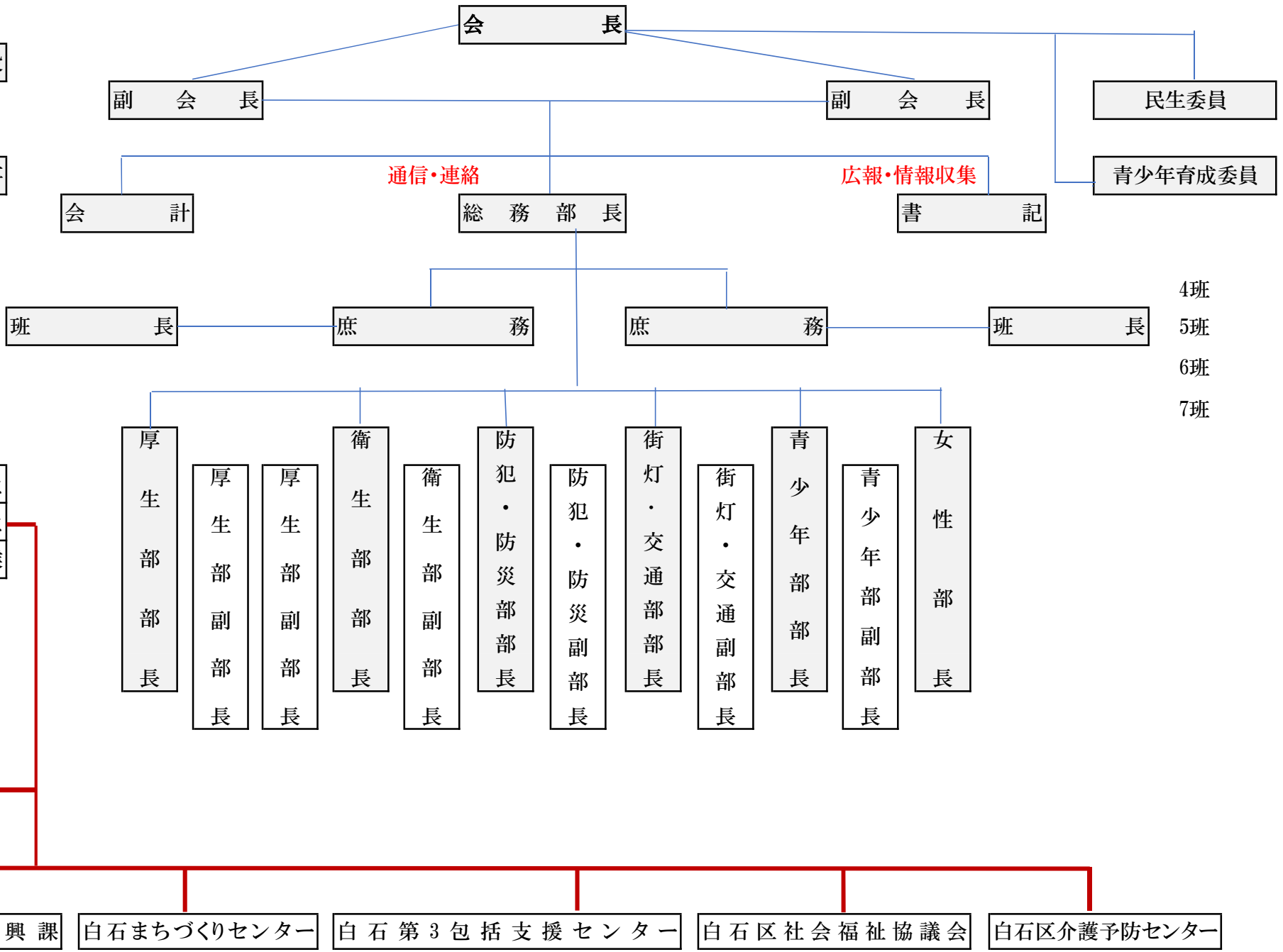
白石第3包括支援センター

白石区社会福祉協議会

白石区介護予防センター

1班
2班
3班

4班
5班
6班
7班





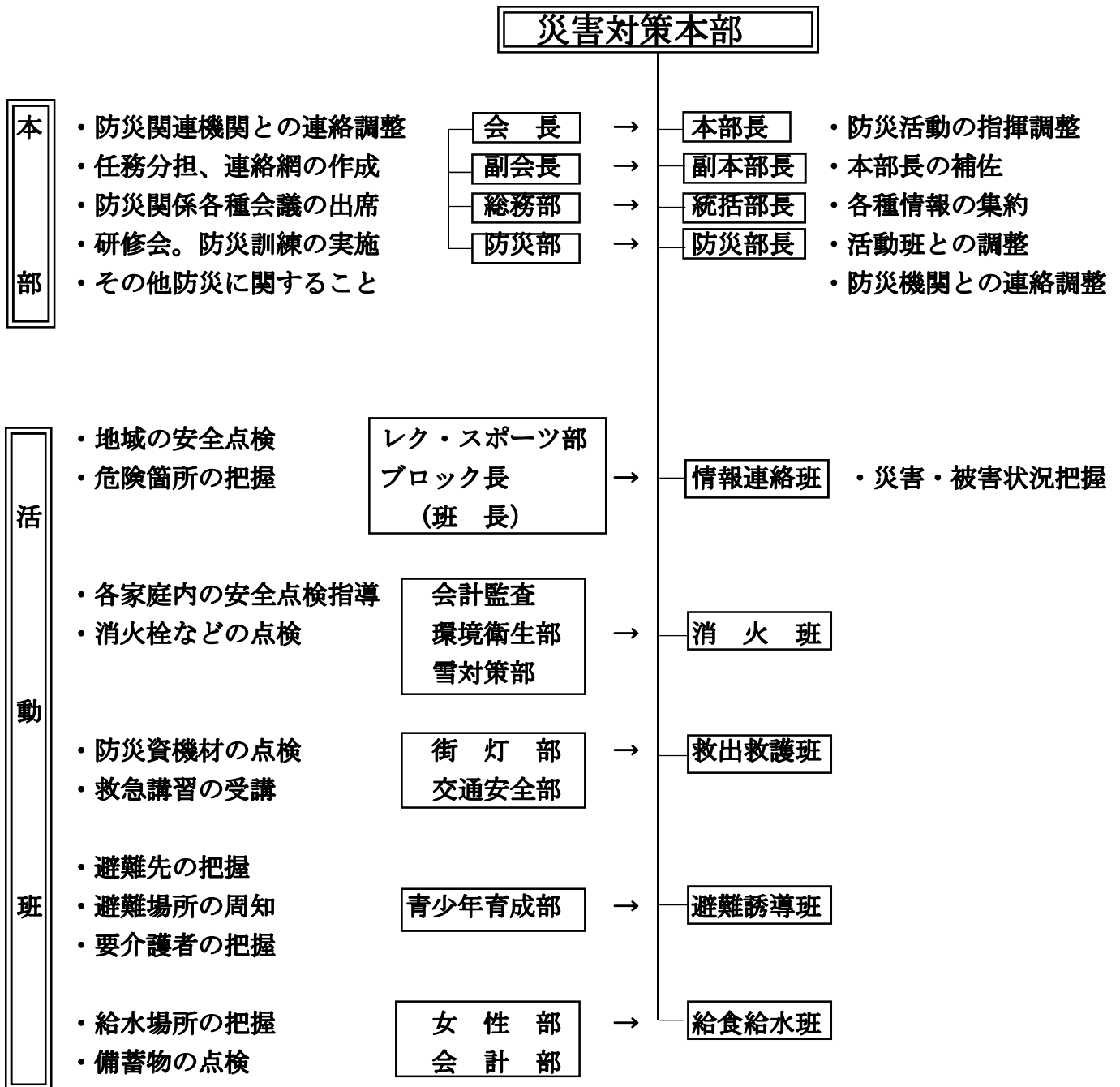
Sakaetoori18.t

栄通 19・20 丁目町内会 防災組織図

災害発生時には、会則第 5 条の役員及び第 9 条の班長は、第 2 条の目的達成のため、自主防災組織を構成する。

平常時の役割

災害発生時の役割



災害が発生したときは

一般避難場所 **白石東冒険公園**